

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設(2-3)、  
廃棄物管理施設(2)）」

2. 日時：令和5年1月13日（金） 13時30分～16時25分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

（原子力規制部新基準適合性審査チーム）

古作企画調査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、上出安  
全審査官、武田安全審査官

日本原燃株式会社 再処理・MOX 設工認総括副責任者 他14名

九州電力株式会社 原子力発電本部 原子燃料サイクルグループ  
グループ長 他2名

中部電力株式会社 原子燃料サイクル部 サイクル戦略グループ  
課長 他1名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

「耐震計算書の修正について」

参考

・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年  
12月26日）

「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可  
申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000120.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html)

・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年

12月26日)

「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000121.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html)

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書(令和4年12月26日)

「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000122.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html)

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書(令和4年12月26日)

「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000123.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html)

- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書(令和4年12月26日)

「日本原燃(株)から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000124.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html)

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	ヒアリングを開始します。
0:00:01	本日のヒアリングは、令和4年の12月に申請があった設工認申請につきまして、
0:00:09	10とかあった資料をもとに、リスク確認を行うものです。
0:00:13	まず規制庁側の出席者を紹介いたします。
0:00:16	本庁側からは、
0:00:23	不中身カミデ。
0:00:26	キシノ以上になります。例年の方から出席者の紹介を、それぞれの、
0:00:34	それよりご説明、ご紹介いただきまして、
0:00:00	資料でございますけれども、耐震計算書の修正について、
0:00:03	についてご確認いただくこととしてございます。
0:00:08	それでは資料の説明の方から、
0:00:10	いただきます。
0:00:13	日本原燃の村山でございます。
0:00:15	この度は昨年12月に申請いたしました申請者の耐震計算記念関係の耐震計算書におきまして、
0:00:24	多数の文がございまして、はい、申し訳ございませんでした。
0:00:29	修正が必要な状態でございますので、その週状況及び修正について、
0:00:34	ご説明させていただきたいと思っております。修正を、
0:00:38	きちんと確認した上です。はい。改めて提出する必要があると考えておりまして、
0:00:44	それについて説明させていただきます。
0:00:46	それでは、
0:00:48	資料に基づきまして、こちらの方から説明させていただきます。
0:00:53	はい。
0:00:57	はい。日本原燃牛尾です。
0:01:01	当本日提出しました耐震計算書の修正対応について、についてご説明いたします。5ページをお願いします。
0:01:13	まず、
0:01:17	資料のですね、最初のひし形のところになりますが、修正に至る主な原因となったところに繋がる経緯について、示しておりまして、

0:01:33	まず計算書の構成見直しをかけております。こちらについては、5ページに構成見直しに関する概要を増進しておりますので、そちらで説明したいと思います。
0:01:45	次のページをお願いします。
0:01:53	こちらの資料では、まず左側の方にですね、計算書作成の基本方針、右側の方に耐震計算書に関する構成、
0:02:03	負担する構成見直しを示しております。
0:02:06	左側の耐震計算書作成の基本方針は、去年、既認可を踏襲してですね個別の方針を、別添として作成してはりましたが、
0:02:17	第1回申請における設計プロセスや、経過の整理を行って、類型化材で統合することといたしました。統合するにあたっては、共通式として統合できるものと、
0:02:29	差分として示さなきゃいけない、示すべき式をですね、整理した上で、統合後、1回である通り、評価栗田委員にまとめて作成をしております。
0:02:42	また、表5においては計算に用いる希望が合致していないものがありましたので、決算に用いる基本共通化できるように割り当てを援助をしております。
0:02:52	次に右側の耐震計算書になりますが、主に定式化の計算書ですけども、既認可と同様にですね、機器ごとに設計条件、
0:03:03	機器を持つ評価結果を1件の耐震計算書として構成してはりましたが、競合では、計算方法が理事、伊井のもの機器を一覧形式で、
0:03:16	まとめて示せるように直しております。この際適用する計算式と適合を踏まえて計算書の方を統合後のように見直しております。
0:03:27	前のページに戻っていただき、
0:03:34	はい。二つ目のひし形のところになりますけども、修正が多く発生した主な原因ですが、耐震計算書を作成に着手した後ですね、
0:03:46	先ほどご説明しました、希望の割り当てとかですね、そういったところに修正が生じてしましまして、それを受けて計算書の方も、都度見直してはりました。見直しに応じて、作成関係者ですね、施設課、
0:04:02	等にですね、周知を機に諮ったんですけども、作成関係者も多くて、時間的余裕をなくなってきました、実務者全員に作成方法が浸透できずに、

0:04:16	言ったことが、
0:04:18	として考えられます。今後、計算書自体の作成にちょっと時間を要してしまいましたので、各施設課が作成したデータの確認とかですね、合本するとき、
0:04:30	落丁やその掲載等の確認に十分に
0:04:35	確認時間をすることができなかった。
0:04:38	というのが大森委員となっております。現在確認修正項目は、添付2の方にまとめておりますので、
0:04:46	4ページの方、お願いします。
0:04:55	はい。4ページの方ですけども、大きく分けて五つの項目の修正項目が見つかっております。一つ目の動きは、記載しておりますけども、不要な誤字ですとか、
0:05:08	会議の
0:05:11	冗長性っていうか、数字がちょっと間違っているという内容です。あとフォームの方はですね印刷範囲の設定がきちんと取れていた、次のページにずれてしまったり、
0:05:23	列が本来あるべきの別の位置になってないとかですね、そういった
0:05:29	項目が確認されており、
0:05:31	三つ目の記載漏れとも時期では、
0:05:35	これも電子データ上の設定ですけども、文字がちょっとな、建屋名称とか長くなった時にそこが文字が切れてしまうといった
0:05:47	津波、
0:05:48	四つ目ですけども学長と重複ということで、有楽町の方ですね、学校するときとかに、
0:05:56	ファイルをですね、ちょっとここに損ねてしまって、学校にできてしまっていたものが見つかっております。
0:06:03	五つ目の計算統一です。1ですけども、本来、適正な並び順で並べるところですね。順番がちょっと平行になってるといったところが見つかっております。
0:06:15	2ページに戻っていただいて、
0:06:26	はい。三つ目のひし形のところになりますが、
0:06:30	修正対応にあたっては、各施設課による修正箇所の抽出対応ということで、現在、ほぼ完了しておりますが、一部継続して対応しております。

0:06:41	この抽出した結果をですね、施設課間でも共有して、同様の修正がないかというのをみんなで把握した上で、修正箇所をきちんと確認すると。
0:06:53	三つの方ですね、決算書のホーム等、作成サンプルをもう一度ですね、きちんと定めた上で、関係者に周知。
0:07:04	した上で修正対応を行います。
0:07:07	最後に、チェックのところですけども、通常のダブルチェックに加えて、施設間でのクロスチェックと、等私どもの取りまとめ部署の方で、横断的なチェックをきちんと実施したいと考えております。
0:07:21	資料の説明は以上になります。
0:07:27	江藤竹田です。ありがとうございます。それでは規制庁側から確認等あればお願いします。
0:07:34	規制庁、伊井です。まずこの資料、
0:07:39	5 ページ以降はちょっと経過も違う話が、一つの表示になってるんですけども、ページ以降の発車とりあえず後ですとして、
0:07:49	4 ページまでの話ってことでいいですか。
0:07:53	日本語指導ですか。失礼しました。冒頭に説明してきた、おっしゃっていただいた通りになります。
0:08:02	第一区清長官です。で、2 ページ目からちょっと確認はしていきますけれども、最初のひし形の話ですね訪問を
0:08:15	従来は元の設工認、向こう 2 を考えていたんだけど、変わってきましたって話なんですけど、
0:08:24	これも第 1 回の審査を始める、始める前から、日経の話をしていて、何で前からこういう準備して買ってないのっていう気がするんですけど、
0:08:38	いつの時点で、この
0:08:42	最初のひし形の対応し始めたっていう事実関係を教えてください。
0:08:48	日本越野です。
0:08:52	実際に学校に向けた対応に取り組んだのは、11 月は、またすいませんそこ様ですけど、はい。
0:09:02	上坂です。今のカミデさんのご指摘に対しまして、この伴さんおっしゃる通り、類型化っていうのは、この申請大会始まる前から議論させていただいた部分になってます。
0:09:14	我々ちょっとここを変えて申し訳ないんですけど、

0:09:18	申し合わせというところで、2 転 3 転してました。その後、例えば 53 分であったりそれが 8 分になったり 5 分になったりで最終的に三分ということで、
0:09:29	都度都度ちょっとやってまして、なので、一番最初に始めた時ってというのは、まず我々が変な考えを持ったその 53 ぐらいから P K 取り込んでの方針とかそういうものは作っていたんですけど、それが 11 月ぐらいから煮詰まってきました、
0:09:45	そこにも応じて、11 月の時点では 5 分類してやっていきましょうよということで取り組んできて、最終的に合意ではないですけど我々これに分類できますという宣言をしたのが、空気が全部になって、そこから、じゃあ最終的にこれでいきましょうということで一度かけたっていうのが、
0:10:02	全体の流れになってます 3. 11 月、12 月 9 日取り組んだというわけではなくて、その編成というか、それに応じて対応してたってことになってございます。以上です。
0:10:15	はい。規制庁金です。
0:10:19	これがきっかけで時間が足りなかったみたいなことにはなってるんだと思いますけど、本当にそうなのかっていうところもあって、
0:10:30	例えば 11 月時点の考えでは、ちゃんとできていることを確認していたのか、それより牧工認のフォーマットではもう本当に完璧だったんですと。
0:10:42	その辺は横断的にチェックをしていたんだとか、その前の状況として、どこまでちゃんとポイントポイントに見えていたかっていうところになってるんですけど、いかがですか。
0:10:55	はい、藤江沢です。今のご指摘に対しましては 53 分類ということで計算書を我々こういうふうにします。すいません、基本方針こういうふうにします。経産省こういうふうにしますっていうところまでは、
0:11:08	ちょっと自分でいいのかです完璧であったってということで理解してまして、そこから最後の金後藤っていう、この漫画につけさせていただいた 1 ページ 3 ページなんですけど、
0:11:19	こう思っているところで、例えば、一番左、統合前というところなんですけど、別紙の 1-11-2、ちょっと気になってた 40 個ぐらいの設定な

	んですけども、そこでいくと、例えば応力であれば、 $\Sigma$ の域っていうのが、そこまで一緒にきちっとこう入ってくるんですけど、
0:11:36	これを統合することによって、 $\Sigma$ の位置っていうのと、機能間、例えば13とかっていうのが出てきまして、そこでんとかなり、こういうことが起きたっていうことで、分析してました。なぜ本当53までは皆さん大丈夫です。
0:11:51	いずれ部分ですけど間違いを起こしてるので、53番目の船津杉段階、そこまでは大丈夫で、そこから議論を重ねていくにあたって、11月ぐらいの8ぐらいでこういうふうにしましようということで、やり始めて、
0:12:05	セゾンが徐々に徐々に間違いというかこういうものが積み重なっていったということで、分析してございます。以上です。
0:12:15	はい。支店長です。53は、までは大丈夫でしたっていうのはどなたが確認されたんですか。
0:12:27	はい。すみません佐賀です。ちょっと計算書作成の進め方踏まえてお話をさせていただきますというところでございます。すみません、ページ1ページっていうところで、
0:12:39	あ、すみません、規制庁です。そういう段階でちょっと確認していなかったんじゃないかと思って。それも中身も含めてちゃんとチェックしていたんだっていうんだったらやってますって言ってくれればそれでいいんですけど。
0:12:54	はい。そういう意味でいきますと、端的に言いますと、こういうふうに作りますという方針とサンプルは提示してましてそれは施設の管理で、まだ申請前なので、
0:13:04	取りまとめ部署には上がってきてなかったので一節加算の確認でOKっていうところにとどまったというのが事実でございます。以上です。
0:13:14	はい。規制庁、丹です。結局そういうことで、鳥山取りまとめの人が見てきたと私は思うんですけど。
0:13:24	ちゃんと物を確認してこなかった横断的に見るっていうことをいつまでもせずに、図規定で最後、
0:13:34	もう申請書を出さなきゃ全部でそれも座のままできたんじゃないかなっていう、
0:13:41	これに私としては感じてますんで、いずれにしてもちゃんと見てください。過ぎたことあるので、これからちゃんと見てくださいねと。



0:13:52	ということなのでよろしくお願いします。
0:13:55	他、最初の、
0:13:58	ひし形のところで言いたいことがある方いればお願いします。
0:14:06	それじゃハバサキですが、
0:14:10	累計短足だとか耐震計算書のフォーマットの変更だとか、そういう、ある意味、それは事実だと思ってます。
0:14:18	ただ、横浜市的にも聞こえて、
0:14:23	年末に出された、特に綺麗な経産省を見る限り、
0:14:27	これ、よく提出できたなあというふうなのが正直な感想ですけども。
0:14:33	それは結果的に、2番目の、その菱形にあるように、十分時間が足りなかったとか、十分確認できなかったというのは、
0:14:42	表向きだというふうに思ってますけれども、これ最終的にこの状態で提出してもいいと判断された多分村山さんとかですね。
0:14:52	これで問題ないという、
0:14:56	理解された上で、いつだったんでしょうか。
0:15:02	日本原燃村山です。
0:15:04	申し訳ございません。ちょっと、個人、最終的な判断。
0:15:10	としては、私がちょっと不在だったこともあったんですけども、
0:15:18	すみません、私が最終的に確認できてなかったことが、も、
0:15:24	理由というか原因だと思ってます。申し訳ございません。
0:15:29	はい。規制庁さんのケース
0:15:32	表向きのその理由を改善するってのはどれなんですけどもやはり、
0:15:36	そもそもなぜ問題だったんだっていうところをですねそこしっかりと解決していただかないと、何とやっても同じ形になってしまいますんですね、あと細かな話に関しては今後、
0:15:46	ヒアリングで接近していきますけれども、
0:15:49	きりがいいわけですので、ちょっとそこは、まず事業者としてしっかりとしたものを出してもらいたい。
0:15:57	というのは、こちらの希望です。
0:15:59	はい、よろしいでしょうか。はい。村山でございます。本件でございますので、きちんと確認した上で、しっかりとして、
0:16:06	したものを出したと思ってます。
0:16:12	はい。私から以上です。

0:16:16	村長の岸野です。聞こえますでしょうか。
0:16:20	はい。聞こえております。はい。ちょっと確認です。1 ページ目の二つ目のひし形と三つ目のひし形で、
0:16:30	多分やってることは変わらないようなふうに読めちゃうんですけども、二つ目のひし形の、
0:16:36	添付の 2 行目。
0:16:38	作成関係者の時間的余裕もなかったということが、現状、打ち上げられて、
0:16:45	三つ目の修正対応のところも、三つ目のレ点ですから、警察工務部さん増加用紙を再度周知した上でっていうことなんですけど、
0:16:55	二つ目のひし形で、関係者時間的余裕もなかったのっていう問題は、
0:17:01	ここではもう解決済み。
0:17:03	つまり、関係者できるだけ絞ってやってあと時間もたっぷりとするような対策。
0:17:11	今回、同じ。
0:17:14	ポートサンプルを再度周知しても、今回は同じ問題は起こらないというふうに考えている。
0:17:20	そういうふうに変えてよろしいですか。
0:17:23	日本原燃保証です。対策として書き足りてなかったところでしたが、この発生させてしまった時は時間がなかったものですから、メールで一方向的に周知をかけて、
0:17:37	この修正をしてくれという連絡を電話でするなどして、個別に対応したんですけども、
0:17:43	中身をどう、どういうふうに、どういう背景でこういうふうに変更するんだというところまでの細かな説明とか、
0:17:53	できるか、そういったものができておりませんでしたので、
0:17:56	今回の修正にまず入る前にですね、関係者を集めて、こういった修正をするという説明会をきちっと開いて、まず着手しようと思ってます。
0:18:09	者説明会した後にもまた、すみません、3、補足させていただいてよろしいですか。はい。今の言い方だと一切説明会やってないことになってしまうので、そうなるが一番最初のひし形と合わないってことになります。

0:18:24	牧島さんのご指摘に対して、今ホシノ湯田の半分合ってますっていうところで、一番下の説明会っていうところの関係メーカー各施設か。
0:18:34	ハープちゃった分、すみません、他条文対応者への説明会っていうのは、12月中ぐらいまでは、毎日、都度やっておりました。
0:18:44	考え方をしっかり説明して、こういうポイントはこういうふうにしていくんだよっていう説明から都度やっていたんですけど先ほど星野が言っていたのが、老古美の成績提出申請書提出前の追い込みの時になった時にその説明会、
0:18:57	もう施設課の方で動かさなければいけないので、そういうのができなくなって、そういうようなメールでの対応とかで、今までの対応個別対応になってしまったというところがありますと、今回に対しましては、それをんと、
0:19:10	最後まで、説明会をやった上でやっていきたいということをホシノは引っかけたっていうところでした。以上です。
0:19:17	村長の岸野です。はい、わかりました。一応関係者間で、
0:19:24	わかりながらやってきたんですけども、最後の詰めの段階で、
0:19:30	わかりませんが、
0:19:34	ちょっとそこら辺、漏れが、集中的に発生してしまったというふうに聞こえました。そうすると今回改めてにあたっては、
0:19:44	昨年までのようなバタがない、しっかり原因関係者からちゃんと周知して、使ったことも確認しながらテレビ、
0:19:55	うーん。そのため若干ちょっと時間を取るかもしれないけれども、そういうニュアンスなのかなと思ひまして、そういう理解でよろしいですか。
0:20:05	はい、米澤です。はい。今の所、木曾さんのご理解で問題ありません。
0:20:10	はい、わかりました。
0:20:17	で、ちょっと時間がなかったから、
0:20:20	まだ今後発生してしまいます。
0:20:25	今後いろんな課題、
0:20:27	これはちょっと別途、
0:20:29	引き続き対応というのを進めておいていただければいいのかなと思ひました。私から以上です。

0:20:37	規制庁カミデです。二つ目、三つ目はずっと話が進みましたが今の関係だと、
0:20:46	まず、時間が確保できない形なんですかっていう話なんですよ。確保してくださいよっていうことでしかないんですけど、なんで時間が確保できないんですか。
0:21:00	日本原燃の佐藤です。今度事務局の方で、しっかり計画立てて、やると宣言して、日取りを設定してやってたんですけども、第1回の申請がずるずるこう遅れてるにもかかわらず、
0:21:15	リングの第2回はもう申請が抜けていったところを生じてございまして、それでもすいません事務局の方に、なかなか厳しいという声は藤沿いではいたんですけども、個別具体的にどの程度の形になるのかといったところの、
0:21:32	我々の把握が甘かったというところもあって、そのまま走ってしまいました。これ前回のヒアリングでもちょっとご説明私の方から今後こういうことが実際計画だけでやると、申し上げましたけれどもその通り、
0:21:45	今後のですね資料の提出、或いは校正の機会これらでしっかり時間をとって、できたじゃなくてしっかりとできるための時間をこれを確保してから、申請すると、提出するということを決定したいと思います。これは申し訳ございませんでした。
0:22:06	はい。規制強化にずっとわかりました。状況としては厳しいという声も事務局には入りつつ、コーティングということで今までと一緒だっていう感じはしますけど。はい。
0:22:18	あとですね先ほどの記者のやりとりの中後、この資料を読んでも気づい感じ取るところは、
0:22:29	問題点として、作成担当者が間違えたことが間違えた、あとはそのそろってない治療作ってしまったこと。
0:22:39	が、原燃としては問題とされているように受け取れるんですけど、我々の問題意識は、何でそれをちゃんとチェックしないのか、チェックする体制ができるはずで、
0:22:53	そういうものが出てこない。担当者が、ミスだとしても、そういうものが外に出ていかないように、チェックをする品質を確保するっていうことを、

0:23:04	やっていなかったというのが問題だと思ってますし、そこがあまり説明されてないんですよ。
0:23:11	今回この議連の話なんですけど、その綺麗に全体のクオリティーをチェックするっていう、責任者はこのどの方っていうか、どの職員ですね、
0:23:24	の方が担っていたのかっていうのを改めて言って説明してもらえますか。
0:23:32	兵庫県の越野です。経産省の
0:23:36	はい。
0:23:36	確認という
0:23:38	ところの人では私の責任になっている。
0:23:43	ことになります。以上です。
0:23:47	はい。規制庁管です。そうすると、橋野さんが、
0:23:53	これ相当、
0:23:55	あれですよ。本来どれぐらいのチェック機関欲しいなと思うんですか。
0:24:02	日本原燃越田ですけれども、まとめ部署としては、
0:24:08	中間位は、押川。
0:24:11	吉井です。以上です。
0:24:16	はい。規制庁管です。わかりました。それぐらい必要なところがなかなか、とりあえずっていうところですね。
0:24:26	やっぱり間違っただっていう、ちゃんとそのチェックの仕組みっていうのを仕組み通りにやるっていうことが大事だと思いますんで今後その修正対応のところもそうなんですけど、
0:24:38	しっかりやってくださいという感じです。
0:24:42	ちょっと修正対応の方入りますけど、
0:24:46	これもよくわかんなくて、まずは施設課で修正箇所や、
0:24:53	流出しますって、そんなと共有しますってそのあと、その経産省業務がまた再度周知になってるんですけど、これ、2度でもいいところで、最初に計算上ポーンとサンプルを、
0:25:06	ちゃんとしたものを出してから、チェックを施設にするにしても、それ、ちゃんと方針、やり方を定めてから送らないと、結局、
0:25:17	ぶれが出てしまうんじゃないかと思うんですけど、その辺どうなってるんですか。
0:25:23	日本原燃の小代です。

0:25:24	最初の l a t e n t 二つ目のレ点で書かせていただいたところを、
0:25:31	修正箇所の確認ですけども、1月6日時点で、
0:25:35	最新の計算手法を施設間に展開して、確認をしております。そのあと、法務委託。
0:25:45	ところ、一部コピーですとか、記載を少し適正化した方がいいところが見つかりましたので、そのところも合わせて修正したいと考えておりますので、
0:25:56	ここで言ってる最新というのはそこも、適正化したもので、再度、
0:26:01	施設間に展開したいなというふうに考えております。以上です。
0:26:09	はい。規制庁、丹治です。これはそちらの仕事のやり方なので、とやかく言うことではないですけど、施設課としたらいいだろうというかですね。
0:26:20	言われたものを言われた通り作業したつもりだけど、言われてるものも間違いがあってそこ修正版も来ないまま、とりあえずチェックしろと言われてチェックをし、他の部署のもう、とびあって見るんだけど、
0:26:33	そのあともう1回同じように作業しなきゃいけないというのはなかなか、皆さん大変だろうなと思うところですがこれはあくまでも、
0:26:43	熱湯ですので、そっち側も今後、
0:26:48	とにかくこちらとしてはちゃんとしたものをしかるべき時期に貸してくださいってことばかり職務します。
0:26:56	すみません、米澤です。少しだけ補足させてください。神谷さんのご指摘の通りの対応をやってたつもりですっていうところでちょっと言葉足らずでした。
0:27:06	6日に家進めたという文章のところの、まず上のところ、各施設課の抽出対応これは要因分析をするのにまずはどういう間違いがあるかっていうのを踏襲して、水平展開をしたいっていうところをやってて、
0:27:19	次に、ホームっていうところ変わってるっていうのも増えたときに、
0:27:25	耐震としては完璧なものを定義したつもりだったっていうところなんです。そこで施設課の方から指摘があったりなんだりしたっていうのが、先週の話になってきてっていう。
0:27:37	足立でした。はい。はい。すみません。補足しました。だからなぜ先ほどおっしゃっていた、皆になるような時間が無駄になるような対応っていうのは考えてなくて、本当、一体一体という気持ちはあったんですけど

	ど、やっぱりそこにそういう不備があったということです。すいません。以上です。
0:27:57	はい。生協狩野です。この後私からは、あと具体的に3ページ目のところで、こういうところが間違ってたっていうしたいと思う。
0:28:10	まずしあと提出スケジュールみたいなところも聞こうと思ってますけどその前に、この2ページの辺りで、岡規制庁側から確認します。
0:28:23	補足です。
0:28:26	それぞれから、いろんな角度で話がありましたけど、
0:28:32	前回ヒアリングで話したことから何も、
0:28:37	違い認識のずれはなかったかなという気はしていて、
0:28:42	結局工程ありきで、工程のためなら確認、これまで2年間話をしてやると宣言をしたチェック機能というのを、
0:28:53	実現しようとする意識はないと。
0:28:57	ということだったんだと理解しています。
0:29:01	反論があるなら言っていただければと思いますけど。
0:29:07	一方で、
0:29:08	今回は申請ある意味だからってということで、時間があつた話ですけど、
0:29:13	委員会にあたっては時間ありませんから、ありませんというか、期限もありませんのでこちらとしてですね。
0:29:20	なんで、どんなに補正の時期を
0:29:23	坂野委員。
0:29:25	ということですから、途中で時間の話になると、また今後っていう話ありましたけど、今後はそういうことは全くないんで、
0:29:35	今後、
0:29:37	そういう意図で補正をしようとしたらやめてください。
0:29:41	ということで、
0:29:43	よろしくをお願いします。
0:29:46	あと
0:29:48	今少し言いましたけど、
0:29:49	この1ページって書いてあります一番下に、ダブルチェックフローチェック取りまとめ、その横断チェックと、
0:29:57	これまでは一層二相さん

0:29:59	はなぜか一層のところにクロスチェックが追加されたと言う形になって、施設間の連携というか、意識合わせというのをスルー。
0:30:12	ということではいいのかなっていう気もしますけど。
0:30:17	3層ってなくなったんですか。
0:30:21	はい。日本原燃佐藤です。そうなるわけではありません。ただ、今回のチェックに関しましては、言い方でいい雰囲気見るわけではなくて、しっかりその階層がチェックしたという、QSTたところから、2、
0:30:36	件数といったところにとどまっていたというのが事実でございます。以上です。
0:30:42	どうぞ。すいません、酸素がないわけじゃないんだけど、ここでの対応という意味では一層2層のところをしっかりとっていうところに、
0:30:51	すぎるっていうことって言われてるってことですか。
0:30:55	表現サトウですもちろん一層二相しっかり運送ですし、3層のそのチェックのやり方がですね、今回、室井大井のところの時間、これはもう蕨わけですが、時間なところもあったので、3層によるチェックというのを、
0:31:09	階層がしっかりチェックをしたという確認をもって、結構酸素が先行したというそういう位置付けにしておりましたので、そこの見方が甘いということだと認識をしております。以上です。
0:31:23	安里さん、すいませんスタートする。これ、対策に酸素が書いてないっていう、対応としてまずくないですか。
0:31:31	原則、相馬さん宗さんが、
0:31:36	決めたことがちょっと甘かったということです。決めた通りにやるという意味での抜けがあったということだと思います。そしたら対策追加されるということでもいいですね。
0:31:47	はい。決めた通りにやるということで、はい。
0:31:56	話が取ってなかって申し訳ないです。
0:31:59	まず、ちゃんと事実確認をしないといけないので、それぞれ計算書、フォーマットの話、というところのレベルを見るのが一体誰がいるんだ。
0:32:10	誰が責任者なんだっていうところは、一層二相な話だと思ってます。全体申請書全体見た上でも、申請書のクオリティ、



0:32:20	を確認するのが最後の第3層ということでいくと、これ星野君が説明したのは、一切間違ってると思ってなくて、第2層まで学校の責任者だと、いうことで整理をしていると思ってます。
0:32:32	ただ、第3層は何みたいなんだっていうところが事実としてはちゃんと把握しないといけないので、そこができてたとかできてなかったのか、そもそも見るべきものが何だったのか決まっていたのかってところは、
0:32:42	全体の申請書とする広域を維持するという意味では、ちゃんと整理をさせていただきますということだと思ってます。以上です。
0:32:50	長田です。
0:32:53	この資料とは別にやりますって言われた通り、
0:32:57	はい、弓削市田でございます。先ほど佐藤が言った時間域だっていうのは決してやっちゃいかんことなので、そもそも申請書全体の時にどんな攻撃なんですかってところが、
0:33:09	決して胸を張れる教育だとは思ってませんので、この耐震だけではなく、
0:33:14	その他の日に、
0:33:16	次、ここの補足説明もそうですけど、次補正をするときに、どういうことをやんなきゃいけないっていうのが、ちゃんと整理をされて、対策として打ち出せるっていうのが必要な条件だと思ってます。
0:33:28	以上です。
0:33:30	はい。補足ですわかりました。
0:33:33	さ、冒頭から説明されたように
0:33:38	少なくとも二相のチェックっていうのにはもうほぼ時間がなくやれてないという状態。
0:33:44	だと思ってますんで、そのやれてないというのを3層チェックは認識をしなきゃいけないし、
0:33:51	認識したら、計画をす、最後福土なきゃいけないという義務がありながら、それを履行しなかったと。
0:34:00	ということと理解しましたけど、それでいい。
0:34:04	はい。油井イシハラでございます。まさしくそうだと思います3層が役割としては、はい。何かそれができてなかったと思ってます。

0:34:13	はい、古作です問題点はクリアになって、これまでもクリアになってたんですけど、実行が引き続きできない、或いはその申請という非常に大事な、
0:34:23	ポイントにおいて実行できなかったということで、理解しましたので、今後補正ではそういうのは、まず、言えない対応になるのでということで、肝に銘じて対応いただければと思います。
0:34:37	須田。すいません、ちょっとこの断面でいくのかどうかちょっとあれなんですけど、
0:34:43	大分修正が必要でということなんですけど、修正。
0:34:49	がどれぐらいかかってヒアリングとしてはどういうふうに進めるのかってというのは、
0:34:53	一通り修正してからヒアリングお願いしますってということだ。
0:34:57	だように、
0:34:59	聞こえたんですけどそういう理解でいいんですか。
0:35:04	乳井西浦でございます。この後、全体の耐震としての進め方っていうお話を、次の5ページ以降の資料のやり方で終わってからやろうかなと思ってますけど、そこで
0:35:17	今、昨日の審査会合の資料での確認の話じゃないですけど、耐震を見た時にじゃあ入力地震動の策定から始めるとかですね。
0:35:28	耐震設計の方針みたいなものも、1に当たるところをやらなきゃいけないんですけどそれは、果たしてこの機器の修正を待ってやるのか、建物構築物っていうのをピークにして、まず始めるのかっていうのは、我々としてどうしたいのかっていうところは、この後ご説明させていただこうかなと思っておりました。
0:35:46	すいませんでした。私は一色っていうつもりでいたわけではなくて、説明する項目に対してということ等、
0:35:56	だったのなのでどのタイミングで何がっていうことだと。
0:36:01	ただけすいません。であればこの後の話を聞けば十分なのかなというふうに思います。一方で、
0:36:11	今回の資料、
0:36:14	なんですけど、
0:36:15	表紙はその耐専計算書の修正対応と書いてあるんですけど、
0:36:21	四角の中であったり次のページの、

0:36:25	代理になると、綺麗に限定される。
0:36:29	ということなんですけど今の石原さんの話でも、地震動関係はとかっていう話なんですけど、それ全体としてはどうなんですか。
0:36:42	はい、鷺見西田でございます。
0:36:46	そして、他のところ、栗城が杉井というわけではないとしても、あそこの修正が必要な部分での抽出した上で、
0:36:56	もう1回程度、述べた上で、内容どう直していくのかどういふふうの原因を進めていくのかっていうのはお話をしないといけないと思ってました。資料のタイトルから施設がないかもしれません今回はあくまで機器のやつをやらしていただきましてこれ
0:37:13	今言われたからこうしたっていうふうにとらえてしまうんですね、十分あると思ってますけども、耐震計算書いただいて今その形で作らせていただいてますので、他を変えて、修正が必要な箇所っていうのを洗い出した上で、
0:37:26	それとヒアリング関係っていうのを整理をして、ご説明をしなきゃいけないと思ってます。以上です。
0:37:33	規制庁営です。最後の進め方最後にしようかなと思ってましたけどもこの段階なんで、どういうふう追加も話をしてしまいいょうかって。
0:37:44	具体的には能勢こないだ行リングでも言いましたけど、特に耐震点がひどいのでそこは、0増員計算書を反映するにしても直してくださいと。
0:37:55	へえ。建物関係は目につくところもありますけど、とりあえずは、申請で全部反映してるということだったと思うんですけど、それ、そういうことも含めて全体で薄め結果説明いただけますか。
0:38:13	日本原燃の村山でございます。すいませんじゃさっき、進め方についてご説明させていただこうと。
0:38:21	記念計画は非常にこのような状況で、修正が必要でありますけども、まず、多分方針が、共通する方針、建物構築物の方から、
0:38:31	地震動の方から、
0:38:33	進める必要があると思いますので、答弁は土橋の方からちょっと教えてご説明させていただき、
0:38:40	はい、与儀根橋でございます。まず建物の進め方といたしましては、すいません。すいません。

0:38:50	政調会いけない建物の話をするんじゃなくて、全体としてどうするんだというところからまずはじゃあ、とりあえず質問しますけど、00資料に計算書を多分つけてくださいねという話を、
0:39:04	しました。まずそれが切れば大分時間がかかりそうですね。建物は多分大丈夫大丈夫ってそのまま進められる所なんですけど。
0:39:15	それぞれいつごろその00が出てきますか。
0:39:20	はい、土橋でございます。今ほどの神谷さんの内容でございますけども、まず、建具関係としまして建物関係としましても別紙4計算書がついていないといったところと、
0:39:31	あとは、フロー図関係とマトリックス表のところで、各建物に対してどういうものがあるんだっていうところ全体を見通せるものっていったものが、現状
0:39:41	0関係についていないといったところもございますので、こちらのものをですね反映したものといたしまして、19日の方に、こちらの方の建物関係を修正したものとといったところで、
0:39:54	地震でファンK m i n をて再度提示させていただきたいというふうに思っております。
0:39:59	で、こちらの方に合わせた形のところで、セガワの方が、これに追いつく形のところで、2月の中旬ぐらいに、
0:40:08	中旬ぐらいに、こちらの方のC R関係の方を再提出していくというような形の方で地震関係の方が進めていきたいというふうに考えているところでございます。
0:40:24	規制庁カミデです。建物が、建物、建物プラス構築物だとまず思ってますね、堂々とかもですね。
0:40:34	はい、井上トガシでございます。言い方がちょっと申し上げました建物と構築物でございます。はい。
0:40:41	はい。清涼花です。その00資料が19日で綺麗はいつって言いました。
0:40:50	日本原燃の越野です。貴殿の方については、2月の中旬ぐらいにお出ししたいなというふうに考えております。
0:41:02	はい。規制庁菅です。とりあえずはわかりました。全体とか00の方っていう意味では、とりあえず把握したので、

0:41:13	じゃあ、その補足も含めて、何をどう進めるのか、説明をいただければと思います。
0:41:21	はい。要因をしてございます。まず全体的な進め方といたしましては、先ほどの地震は先ほどの工程の方とともにですね、あわせまして昨日の会合資料の中でもご説明させていただいてるところの、
0:41:35	すべての共通事項となります。一番ホテル、こちらの方の設定に関しましては、そちらの方、並行して審査の方進めていただきたいといったところもございますので、
0:41:45	まず、耐震建物での8こちらの方が、地震応答解析に用います地盤モデル及び地盤物性値の設定についてという説明資料でございますけども、こちらの方、本日、市長といたしましては提示させていただきたいと、いうふうに考えてございます。
0:42:00	こちらの方の資料の提出に基づきまして、来週ぐらいからですね、こちらの方の御説明資料の内容という形のところで、地盤関係の方、変更して進めさせていただきたいというふうに考えてございます。
0:42:13	あわせまして新00の関係の方ですね、ある程度審査の方で全体こういったところの建物構築物関係の方の内容の方ですね、見ていただく会の後にですね、
0:42:25	屋外重要土木構造物につきましては第1回側の方であまり内容の方を説明していない項目になってございますので、こちらの方の内容をですね、順に説明して、させていただきたいというふうに考えてございまして、
0:42:39	こちらの方、経済事業の報告に対しましてのご説明資料関係でございますけども、こちらの方、1月の末の方に提出させていただきまして、地震00の進行に合わせた形のところで、並行して、こちらの方の説明の方も合わせて、全体を掴んでいただくという形のところで進めさせていただきたいというふうに考えております。
0:42:58	例えば、保守関係の、1月と1月、
0:43:02	2月の中旬にかけての説明の更新という形で考えてございます。以上でございます。
0:43:09	10年のミヤモトでございます。今、土木構造物話出ましたんで、具体的にちょっとイメージしてるのは、今鳥羽氏が言った通りなんですけど、液状化関係の

0:43:21	耐震地盤 01 というやつで、まだ目星の方は液状化の方、審議いただいたんですけど、六ヶ所層、新たな層が出てくるんでそこら辺の液状化に関係するような、
0:43:34	物性関係、宮元さん。はい。宮本さん者ですけども、ちょっとゆっくりしゃべって。あとマイクに近すぎて音声割れてる。そうですか。これは大丈夫ですか。
0:43:47	はい。宮本さんだったら早口な背斜、はい、二本木です。日本原電の宮本でございます。じゃ、ちょっとゆっくり話させていただきます。
0:43:58	今の構造物関係の話が出ましたんで、イメージとしてはですね、1月末にですね、耐震一番を1、
0:44:08	と言われてる、液状化竹本市の方、審査していただいたんですけど、6ヶ所装荷とか新たな草加の液状物摂取パラメーターの、
0:44:18	設計項目みたいな資料を、1月の末に示させていただきます。
0:44:25	これ合わせてですね、耐震建物 13、これ医大から引き続きの、審査したと言ってくるものなんですけど、液状化の対象施設がどうかっていったところの具体。
0:44:38	を、解釈の 13 に示させていただいて、合わせてですね、耐震建物 35 っていうのがあると。補足資料を準備させていただいてるんですけど、
0:44:50	土木構造物関係の対象断面の液状化はどのようなものがあるかといったところあたりですね、説明資料をですね、1月末に出させていただきます皆様、
0:45:04	ヒアリングさせていただきたいなというふうに、まずは感じております。以上でございます。
0:45:12	ニューメディアでちょっと社内でも恐縮でございます都さんも、
0:45:17	午前中も言ったように、先ほど富樫さんの言った、耐震建物での 8 でやろうとしてることと、今言った地盤での 1、
0:45:26	耐震建物 13 の関係は何なんだってちゃんと明確にした上で、それぞれの認可関係とか説明の順番とかも含めて、ちゃんと説明しないと駄目じゃないですかこれが主体だったじゃない。
0:45:40	2 行目のミヤモト、激職に関する事なんで入力地震動に関わる話なんで、まずは耐震フジワラ 01 と耐震建物 13、
0:45:52	合わせてですね、大気浄化対策はどうなのかっていったところの土木構造物の

0:45:59	入力地震動の関係のところをですね、主にご審査を先行してさしていた だきたいということをお伝え申し上げます。
0:46:13	藤規制庁カミデです。まずは、
0:46:19	12月から話していると思うんですけど、
0:46:24	へえ。
0:46:26	まずはその登場人物どんなものがあるかと、各町からの関係は今日も資 料に載ってますけど、
0:46:34	前回から破棄工認からの変更点がどんなものがありますかとかですね、 これ変更点の
0:46:42	補足説明資料だったり、あとは大事な建物01なんかはもう全体の取り まとめというか、全体を示す。
0:46:52	進藤ですから、そういうものを早めに見せてくださいねと言って1月5 日にいただいたスケジュールでは、今日、
0:47:03	資料がて済んだと。
0:47:04	地盤モデルの主張と合わせてすんなりってということなんですけど、今日 出てくるのは地盤モデルだってということなんですか。
0:47:14	はい。乳井土橋でございます。本日の資料といたしましては、一番上 の方で組という形で、ちょっとこちらの方の地震の耐震建物01の部分に 関しましては、
0:47:25	ちょっと社内で相談した時にですね比嘉との連続性もございましたの で、そちらの方と合わせた形の方で提出した方がいいのではないかと いったところございまして、
0:47:38	現状の本日、提出資料の方からは存続といったところは抜いているとい う状況でございます。以上です。
0:47:47	はい。規制庁管です。そうだとすると、
0:47:52	先に綺麗に合わせる必要はなくて、建物を先に手をつけるということ ですから、建物部分だけでも耐震建物にする家を出してもらわないと、
0:48:02	後、変更点についてもうまずは、建物構築物という意味ではそういう資 料を先に出してください。で、宮本さんは説明していただきましたけ ど、
0:48:16	要は、こういうところがお前、話をしてないところから話聞いてもらわ なきゃいけないんですとかですね、友子等をそこを入口で話をしない と、進めることも、

0:48:29	いないので、その辺りはちゃんと頭で整理する項目として認識をしていただいて、早々に話ができるようにお願いします。
0:48:43	現在の宮尾です。了解いたしました。
0:48:49	はい。規制庁、上出です。その上で時間は、資料が出てきますねと言ってる建物側の話なんですけど、だから地盤の話をしませ後は、00
0:49:00	がどうもみたいな話でしたけど、やっぱ、あんまりイメージがわかって、最初に入力地震動の話をするんだらうな。
0:49:10	定義があるんでしょうけどそのあと、どういう段階で、
0:49:15	何を聞いていくか、形になるんですけど、
0:49:21	はい、明神土橋でございます。まず先ほど高宮さんの方からもお話がありましたけども、
0:49:27	教授としてどういうものがあるのかといったところの、資料といたしまして先ほど
0:49:34	来週の19日に田島寺田に合わせてその登場人物を縦軸の方に並べてあげて横軸にどのような評価があるのかといったところをマトリックス表を示したものでいったところをですね、ご提示する形の方で考えてございますので、まずその部分で登場人物は何なのかといったところをですね、
0:49:52	お互いの共通認識の方を図っていききたいといったところでございます。そちらの方に合わせまして共通の基本方針関係のところは、第1回の方で審査されている内容の方からですね、変更したところはございませんので、
0:50:05	どちらかと言いますと、計算書作成方針の中で、やる内容といったところをですね明記しているところがございますので、そちらの方のマトリックス表をですね見ていただきながらその全体のやってる内容といったところをですね、ご説明していくといったところで、建物構築物関係の全体像といったところをお互いに
0:50:25	使っていくといったところをまず最初にやらせていただきたいなというふうに考えているところがございます。以上です。
0:50:33	はい。規制庁可児です。わかりました。マトリックスっていうのは計算書作成の基本方針の1につけるはずだった。規定はついてますけど建物作るはずだったら横軸に設計する。
0:50:45	データで軸に新設されちゃった。



0:50:48	そういうものを使いながら、要はそのあれを見れば、特徴的なところがどうい建屋にあるのかとか、へえ。
0:50:57	この辺はほとんど一緒ですねみたいなのがあるから、それを見つつ、全体の昨日のヒアリングでも一旦 00 計算書とかも駄目というふうになってます。
0:51:09	言いましたけど、その辺、どういうところから手をつけていったらいいのかというところが、認識、教育課、
0:51:18	いうところなので、まずはあれですかねその地盤の話だったり 00 の触り方、進め方みたいのは、来週辺りでヒアリングができて、
0:51:30	00 の確認の進め方みたいなものに合わせて、最終また、何段階かに向けて、00 確認していくことになると思いますけど、そういうところですね。
0:51:45	そうなってくるとだんだん藤堂の方、ついてきてどうぞ案件もメニューに入ってくるみたいな感じなのかなあとイメージしてますけれどもどう認識合ってますか。
0:52:01	はい、土橋でございます赤嶺さん、下ろした通りでございますしてそういう形のところでですね、全体といったところから、ここに入っていくといったところをまず目指していただきたいというふうに思ってるところでございます。以上です。
0:52:15	はい。規制庁管です。で、00 さわるにしても、補足が全くないっていうのもあれなので、今いただいて 1 月 5 日のスケジュールももうすでに、
0:52:29	これの通りに進んでいないということですから、相当にまたスケジュールを出してその 00 の触り方のイメージそちらのイメージに合わせて、こういう予測も出していきますという形で、
0:52:41	スケジュールをまた提示いただければと思います。
0:52:46	はい、土橋でございます。後日、いただいた内容を踏まえまして、スケジュール表のほうを更新いたしまして、いつもさしていただきたいというふうに思います。以上です。
0:52:57	はい。支店長わかりました。あとちなみに、今、ヒアリングの進め方としてバーッと話を聞きましたけど、審査会合っていう意味で、
0:53:09	今聞いた話だと、その入力地震動の話は 2 月の会合にかけたいと。
0:53:15	いう形でしたけど、3 月のメニューが空白なんですけど、
0:53:22	3 月どんなことをやりたいかってあります。

0:53:37	はい、西田でございます昨日お話をさせていただいた通り、正直やりながら、角具合を見ながら、
0:53:47	どういったものを処理するか、どうやっても遠藤にするかが決まってねとヒアリングスケジュールをねらうという気がするんですけど、ちょっと今の状況ではまだ
0:53:57	1月、後半、2月の頭の状況見ながら、どういうアイテムを受けることをご相談させていただこうかなという状況かと思ってました。以上です。
0:54:09	はい。規制庁可児です。わかりました。そうすると、3月の出し物をどうするかっていうのは、いつぐらいに決めなきゃいけないかっていうと多分2月の頭ぐらいには決まってないといけないでしょう。
0:54:23	そのために、じゃ何をやらなきゃいけないかっていうことを確認する意味でも、まず建物構築物の00触っていくっていうことですから、
0:54:35	2月上旬ぐらいに通り返されるさわり終わられるように、00の確認スケジュールを組んでいくという感じかなと思いますので、その辺りも、
0:54:53	時間に縛られるという話もしてますけど、適切なところで確認が裏事業ちゃんと計画を立てて、進められるようにということで建物構築物はそんな感じだと。
0:55:07	それから他の規制庁側からあります。
0:55:17	コサクです。
0:55:19	00の通り建物は、現状申請されてるものをベースにということ等で、本来、そもそも申請書でしっかりと、
0:55:33	レビューをしたものでされているわけだから当然それをベースに、補足説明資料で、ヒアリングするということと、
0:55:44	まずから、それぞれでやっていくのは構わないとしつつ、
0:55:49	だと言っても、レベルが本当にちゃんとしたのかっていうのはあやしいところが多々あると思います。
0:55:59	最初に話あったように、
0:56:02	00 それに立つもの原燃内では、改めて見て、直すべきところとかっていうのは抽出されるって理解でいいですか。
0:56:14	はい、日本石田でございますこれは回収に限った話ではないんです当初から申し上げてる通り年末の申請書の出し方自体が、

0:56:25	数もよかったと思ってないので、レベルをヒアリングする前に、当然直すべきものが抽出されれば、直して提出して、ヒアリングさせていただきますし、
0:56:36	あと、少なくともうちも拾いたいのがあれば、ヒアリング時に、こういうところは直さないといけないと認識してますと、我々の方がしっかり説明させていただくということを前提に、
0:56:45	資料提出なんかにはアリングを組ませていただくということだと思ってます。
0:56:51	はい。ちょっとです。
0:56:53	まず、建物の話であれば、今、最後に言われたように、00出したにせよ、ヒアリングのところで、そこまでに、基本的にレビューをし直して、見直すべきところというのがあれば、
0:57:06	ちゃんと説明いただくということでよろしくお願いします。
0:57:15	はい、規制庁カミデサトウ、建物構築物特になれば綺麗ですけど、
0:57:23	規制庁岸野です。ちょっと土木に関して、池崎よろしい。
0:57:31	大丈夫です。はい。
0:57:33	先ほどの1月末、どっか、
0:57:36	資料提出してもらった。
0:57:39	でしたのでそれに関連してなんですけれども、申請書のほうまで労働は計算書等、
0:57:49	区間延長の中に、
0:57:53	今日断面選定したその計算結果を申請構成、
0:58:02	現状例えば260メートルから、
0:58:06	従来選定したりですね、その半分、
0:58:11	一つしか選んでなかったって言ったのは、
0:58:14	当然ながら、構造の特徴ですとか、周辺地盤の直近ですとか施設の取り扱いだと。
0:58:20	そういったものを踏まえて、必要なものは駄目だ。
0:58:24	規律を満たせるものが一つ二つというような形で選定過程を踏んでると思いますけれども、
0:58:30	そこら辺のプロセスっていうのが取れる、補足説明資料で説明がある。
0:58:35	その他にですね、もともとの母集団
0:58:40	全体の傾向、

0:58:42	特徴は、
0:58:51	説明は、
0:58:52	必要な県民じゃ駄目などを交え、或いは政府なんかも交えてですね。
0:58:57	具体的に説明をしていただく必要があるか。
0:59:00	ですけれども、その辺、
0:59:03	進んでいるという
0:59:05	ことでよろしいですか。
0:59:07	前の宮本でございます。補足資料の方ですね、代表断面の設定についてという、補足資料を今準備しておりますので、
0:59:17	それがちょっとまとめ次第ですね、ちょっと地盤モデルだったり、液状化のやつがちょっと進みつつ、
0:59:28	2月から3月、6%の歳入ですね、出していただきたいと思います。
0:59:37	先ほどの説明等、
0:59:40	そういった代表断面の選定まで含めて1月末に出したやつとヒアリングのかなというふうに聞いてたんですけど、代表断面の選定過程だと、
0:59:51	ことを考えたんですけど、今、私が先ほども、日本原燃の宮本でございます。先ほど申し上げたのがですね、まずは液状化に関する代表断面、
1:00:04	だからこの施設はこれを考慮するようねといったような根拠資料については、1月末に出して、ぜひ、
1:00:13	同時代の断面決定については、ちょっと少し置いてですね、補足資料の方を出させていただきたいなど、今、
1:00:22	思っております。
1:00:25	村長規制庁カミデですけど液状化のものだけ成功してと言われてもよくわからない。一緒にお話を聞く方が効率的だと思います。
1:00:40	申請を出してるわけですから、当然どういう考えで、どういうところ駄目を切ったのかっていうのを説明できるはずなんですけど、何で遅れちゃうんですか。
1:00:52	すいません。
1:00:57	同じタイミングで出すようにいたします。日本です。
1:01:02	はい。伴の成長上津わかりました。
1:01:06	はい。
1:01:10	そういった、
1:01:18	うん。

1:01:21	うん。
1:01:25	聞こえます。
1:01:30	パッチがあって、
1:01:36	やっぱよくなって、
1:01:44	考え方に基づいて、
1:01:51	んだけど、
1:01:59	ということで考え
1:02:04	運用上の湊です。代表画面の考え方なんですけど、構造の形式だとか、 周辺環境の地盤の状況とか、改良状況とか、そういうの、
1:02:16	見極めながらですね、代表断面を決定してますんで、そこら辺もわかる ようにさして高速資料持っていかさせていただきます。
1:02:26	はい、わかりました。断面センターだけいっぱいいるんで、それを導入 してですね。
1:02:44	はい、規制庁カミデです。他なければ、今度建物構築物ではありますけ ど2月の中旬で00ということですが、
1:02:55	機電側としては、それまでは
1:03:00	特にヒアリングを設定することはなくってということで考えてるのか、何 かこれだけは話をしたいというようなことがあるのかという感じです。
1:03:17	4メートル後です。
1:03:18	機電側としましては
1:03:23	フライングについては地盤等の状況も踏まえながら、2月、
1:03:30	中旬以降に設定していきたいなというふうに考えておりました。補足説 明資料関係は1月下旬から2月上旬くらいまでに、
1:03:43	提出して、
1:03:45	いきたいと考えております。
1:03:47	以上です。
1:03:52	はい。規制庁菅です。ヒアリングとしては、特段だって資料は出します ってことなんですけど。
1:04:01	00より先に補足が本当にするのかっていう気はして同じところでそろい ますっていうのはわかるんですけど、先行して出せるものってどんなも のですか。
1:04:20	のです。先行して、出そうとしているのは再診起点15、耐震基準18、 耐震基準23、耐震基準30

1:04:31	Aについては先行でお出ししたいと。
1:04:34	この発足は基本方針の
1:04:38	内容に内容を直接接続するものですので、これについては早めに、
1:04:44	提出したいなというふうに考えております。
1:04:51	規制強化です。
1:04:55	もう、逆に言うと 00 資料の時点で、本来の申請とあわせ持つかもしれないですけど、00 の、2 月中旬の 09 の資料、
1:05:07	主な時点において、まだ間に合わない規定も作ってありますか。
1:05:13	日本原燃の越野です。経産省 002、追加スルー。
1:05:20	断面で提出を
1:05:23	行い、
1:05:24	ふうに考えておるのは、耐震綺麗 07 ですな類型化と代表設備の捕捉に関しては、
1:05:31	このパターンかなというふうに考えております。それ以外については
1:05:36	地震 0001、
1:05:38	の前に提出できればなというふうに考えております。
1:05:45	規制庁かベース間なんか大体そろうなんていうので、とりあえずはよかったんですけど、07 って、
1:05:55	00 を出さないとつukれないのかっていうとそうではないと思っているんですけどそれは
1:06:02	どういう
1:06:03	認識で部長にするのか、その説明の順番として後にしなきゃいけないと思ってるのか、単純に手が足りないってということなのか、どんな感じですか。
1:06:15	日本原燃ホシノですね、説明の順番から考えて、少し後にした方がいいかなというふうに考えておりました。以上。
1:06:25	与儀石田です。穂積さんそれはおかしい。
1:06:31	だったら、杉田そういう
1:06:35	本件後です。はい、承知いたしました。
1:06:42	はい、規制庁神栖粒径岡海津せずして、今回の申請書作って、
1:06:48	うしろっていうのはおかしいで、
1:06:52	何だろう、本当す。

1:06:55	00207 番だけでもっていう話があってもいいのかなっていうぐらいの資料だと私は思ってますから工事量が出てくるっていうことなんで、いずれにしても聞けば、資料ポツポツ出てくるんだけど、
1:07:08	話をするのは2月の中旬以降になります。そこまでは、やっぱり建物、あと構築物のところでもいろいろお話を聞くところあるので、長期中心に進めていくんだなという感じで認識しました。はい。私の方から以上ですか。他、規制庁にありますか。
1:07:34	規制庁管です。他特になければ、
1:07:39	進め方としてはこのぐらいにして、またまた資料に戻って、
1:07:45	さあ、3ページ4ページがありますけど、3ページとしては、私としては、別に何も、この3ページの内容について今コメントすることはないんですけど、事業者が何か、
1:07:57	言いたいことってありますか、ないです。
1:08:10	3ページ。
1:08:12	日本原燃の越野です。特にはございません。以上です。
1:08:21	はい、規制庁神栖ばかり、4ページのところです。で、
1:08:34	ちょっと他にいろいろ書いてはいるんですけど、
1:08:38	まだちょっと足りてないんじゃないかという感じもしますので、
1:08:46	ちょっと4ページの話、ができればなと思いますが、
1:08:57	今私の画面共有できたんです。はい。
1:09:02	まず、4ページのところで、
1:09:08	まず、
1:09:10	学長ってあるんですけど、4、4番ですね、藤学長って全体何ページぐらいありました。
1:09:19	日本原燃保証です。現在確認しているページ数で、およそ70万円程度に行っております。以上です。
1:09:29	はい。規制庁管です。本文で言うと全部添付ですか。あとはどんな感じの内容です。
1:09:38	日本原燃の越野ですが、申し上げたのは耐震計算書の部分での、
1:09:46	学長になります。
1:09:48	以上です。

1:09:53	はい、規制庁です。ちなみに落丁はさすがに他のところでもあっちゃ困るんですけど、全体、今、確認し終わって耐震だけで済んでるのかっていうのは、状況どんな感じですか。
1:10:13	少々お待ちください。
1:10:21	人間サトウです。田井稲井、すいませんまだ全部確認できておりませんので確認でき次第また報告をいたします。
1:10:31	はい、清という感じです。さすがに落丁されちゃうと何もこちらも確認しようがないので、清耐震で70眉も使ってるんですから、ほかにもあるんじゃないかっていう気もしますし、
1:10:47	しっかり対応をお願いします。で、あと学長に限らず、耐震の計算書、さらには、危険の計算上、買ってるんですけど、いろいろ、
1:10:57	直さなきゃいけないところなんですけど、これ、直すページでいうと、大体どれぐらいの物量になりそうですか。
1:11:06	それを踏まえて2月中旬と言われている時代はあれなんですけど、どれぐらい直します。
1:11:13	日本原燃星野です。すいません今手元に集計したものがちょっとページ数ではなくて修正する箇所というか件数でして、それでいくと、約2330。
1:11:26	ヶ所ぐらいの修正が必要ということで把握しております。以上です。
1:11:33	はい、清長官。わかりました。ページにしても少なくとも数百ページにあるだろうという感じ。
1:11:40	ですよね。
1:11:41	日本原燃保証です。はい。
1:11:45	決算書祭は大体4500万円ぐらいあった。
1:11:49	あるんですけども、
1:11:51	本日は半分ぐらいのページには何かしらの、
1:11:55	修正が生じ、もっと想定しております。以上です。
1:12:02	はい。規制庁鏡です。
1:12:05	なかなかつらい状況だと思いますか、ちょっと結構、お願いします。で、今から話をするのは、それ以上に増えちゃっこの世代っていうところなんですけど、
1:12:19	まず1ぼつの誤記D、



1:12:23	ヘッダーが入ってないっていう話があって、その前に業種がありますよっていうことですけど、
1:12:31	私のというのは、そういう感じではなくて今の、
1:12:36	資料共有して、これは
1:12:42	申請書ですけど、4-2-1-2 というところですね、
1:12:50	そろそろ、
1:12:51	表c、無駄な表紙が多くて、目次がちゃんとしていないっていうところが問題だと思っていて、
1:13:06	例えばこれだとこれ機械関係、計算書の最初のページで、余地があっ て、次のページが、
1:13:16	2、2万2789ページですけど、定式化されたら、これぐらいは良くて、
1:13:26	この後に、今度また4Aパターン指示容器となって、
1:13:33	ここにまた目次がいいですね、目次なんだけど、概要が1ページあって そのあと、番号も何も振られてない羅列があって、
1:13:45	その次のページの概要あります。
1:13:49	意味の意味ねえなまた表紙があっについて番号も何もない、4月期、 これが今3、3番についてですね。
1:13:58	そのあとにいろいろ設備のリストというか、条件表が来るんですけど、
1:14:07	基本的には最初のページ、
1:14:11	2、七、八、8ページ、この二つぐらいの表紙はいいですけど、
1:14:17	まずこの後の2-1-2-1に、
1:14:20	どんな種類の配信決算書があるかってのは、この次に目次がまずあるべ きです。
1:14:27	で、そのあと個別の、ただし上記の表紙があっこの目次には、この 1ポツだけじゃなくて、その他のところ、その下もですね、ちゃんこ う番号振っておくと。
1:14:41	何でこの2万1793ページの教室等言わなくて、
1:14:49	2万2796ページに飛んでよくてここに何ポツなり、設計基準対象施設 とか、構造評価みたいな感じで、
1:14:59	ヘッダーでちゃんと書いて欲しいと思ってます。じゃないと
1:15:08	個々の物量で、こういう表のつけ方をすると、この表って何の表なのか 全然わかんないんですよ。

1:15:16	メインのS sの評価なのか、木内県の評価なのか、整理を行ったとか、全然わかんなくて、
1:15:24	是正なのか、指なんかわかって、
1:15:27	ていうところですから、ヘッダーを削るんじゃなくて、下手をちゃんと書いて、無駄な表彰、二つ目次をちゃんと確保する形で、
1:15:38	作業していただきたいんですけど、まずイメージ伝わりましたか。
1:15:44	日本原燃星野です。
1:15:47	はい、今おっしゃっていただいた認識いたしました。
1:15:54	あれ、規制庁カミデよろしくお願いします。ちなみに、
1:15:59	耐震計算書全体の目次どうなってるのかっていうと、これ、4-2の耐震性に関する経産省で、
1:16:10	そのあと目次があるんですけど、これ、建物構築物からドウドウがあり、さらに貴殿、そのあと、
1:16:21	影響評価、波及影響云々かんぬんと、
1:16:26	II、10ページ以上にわたって、目次があるんですけどさすがに、目次の付け方ってことじゃないんです。さっきも言いましたけど、適切なところ、適切な目次を入れてください。
1:16:40	2万とか3本ページレベルの目次を一気にここに集約されても何の意味もないですから、
1:16:48	この辺りは機器だけじゃなくて建物もちゃんとして欲しいというところですから、次の建物を00にどこまで這いするかはやっぱりですけど、
1:16:59	いずれにしても目次をしっかり書いてください。移します。よろしくお願いします。
1:17:10	日本原燃星野です。全体の目次のあり方についても今一度確認して、修正して参りたいと思います。以上です。
1:17:22	はい、規制庁丹です。次に、この名称っていうところですけど、一番でしょ。機器名称って上がってるんですけど、機器名称がこれで正しいかどうか、我々はよくわかんないんですけど、何を急いだと思う。
1:17:38	植木家名称を見ていけばいいですか。
1:17:42	日本原燃星野です。機器名称に関しては、基本的に設備リストですね、に書かれてる現象とを整合させるのが第1ですが、
1:17:53	物によっては構造が権限を若干違いますので、そういったものは機器の名称の後、2、識別の規模をつけることで記載をしておるんですが、

1:18:06	ここで言ってた機器名称のところは
1:18:10	二つの機器を一つのもので記載していいところを、
1:18:16	二つに分けて記載してるとか、あと、逆に二つに分けなきゃいけないところが一つに書かれてしまっていたとか、
1:18:23	そういったものがございます。
1:18:25	以上です。
1:18:29	はい、わかりました。あと、配管名称は、設備リストじゃないと思いますけど、あれは仕様表レベルで全部載ってるんでしたっけ。
1:18:42	日本原燃大城です。失礼しました配管とか設備リストだけではなくて、おっしゃっていただいた通り仕様表を、のものと整合させるものとして、配管とか、あと、
1:18:55	耐震重要度分類の中で出てくる表記で主配管といったような表記で記載しているものでございます。以上です。
1:19:08	はい、規制庁です。わかりました。あと、次、記載方法で、
1:19:16	斜線のところとかですね、
1:19:21	ちょっと気になるところって共有をしますけど、
1:19:29	これ、
1:19:32	前処理の A S R の評価だと思います。申請書でいうと、
1:19:40	2万3000、
1:19:44	101 ページですか、になってますが、
1:19:49	ちょっと具体的にこの表で、この表でも何か斜線とバーの使い方が、何か変な感じがするんですけど。
1:19:59	どう、どこがどう直されるべきなのか、ちょっと発言できる範囲で、
1:20:06	ちょっと教えてもらえます。
1:20:12	ちょっと思います。ピンクのところなので、ちょっとお待ちいただいてもいいですか。
1:20:22	はい。
1:20:28	日本原燃星野です。
1:20:30	そう。
1:20:32	評価上、全く関連のないところに関しては斜線
1:20:42	を
1:20:45	というような、
1:20:48	うん。

1:20:48	結局、
1:20:50	ルールにしています。
1:21:00	えっと、規制庁、大上です。ちょっと質問形式にしますけど、
1:21:06	S Dの評価結果のところですね。ええ。ええ。
1:21:14	3層力が、
1:21:17	スパーになって、大丈夫そうですけど、これは斜線じゃなくてば使うんですか。要は、S sの発生応力に応じて、Dの、
1:21:30	結果は出ますよ、古藤ですから、
1:21:34	S Sの、
1:21:36	課題が、S Eの強調下回った場合、これは出ますってということですか。
1:21:45	日本原燃越野です。はい。今おっしゃっていただいた通りです。3指導力のところにアスタリスクが入ってますので、その説明に、
1:21:55	繋がるものは、
1:21:58	使ったっていう入力。
1:22:00	以上です。
1:22:03	はい。規制庁管です。である基金等、
1:22:08	一次応力のところが斜線になっていてということ。これ一条さんが必要のない機器なので、
1:22:18	ここは斜線というか
1:22:27	保険でホシノです。こちらの部分は他の
1:22:32	ところも、
1:22:39	例えば一次一般膜と同じような結果になって、
1:22:49	他の箇所でも、修正した計算結果と同様の比嘉先生の所というか、そちらで示されているものを、斜線で示しているもの。
1:23:04	規制庁管です。
1:23:07	すべての斜線ガス、その考え方っていうそうじゃないですね。
1:23:12	はい。おっしゃっていただいた通りです。そういったものもあれば全く計算上必要な必要ないというか計算項目に
1:23:23	なってないところも、斜線で記載しているものがあります。以上です。
1:23:29	はい。規制庁神戸です。その辺りはちゃんと交通整理をしてわかるようにしてもらえるんですか。
1:23:39	日本原燃の越田です。はい。その辺の期さ

1:23:43	については先ほど申し上げたように違う場所のところに注記を記載するなどして、
1:23:51	例えば示してるっていうようなことは記載しております、
1:23:57	記載しております。以上です。
1:24:03	はい、溝上です。
1:24:06	それぐらい細かい話になって次の出てきた段階で確認しますが、
1:24:11	あとは、認識合わせとしては、
1:24:14	この計算式のところは埋まっていますけどSDのところ、評価してないのになんで計算式の欄が埋まってるんだろうって感じはしますか。これは、入ってないところもあるんですよ。
1:24:26	入ったり書いたり書かなかったりっていうところなんですけど、千葉清飯塚。
1:24:36	少々お待ちください。
1:24:44	あと、規制庁カミデス
1:24:47	ちゃんとやっといってください。で、
1:24:50	じゃあ、許容力っていうのは確認なんです。
1:24:57	日本原燃越田です。算出をしてないところに対しても教職は記載するという事として、
1:25:13	表現の保障ですか。すいません。訂正いたします。
1:25:17	SDの早速を省略していても許容応力の表記が必要ですので、そこは記載することとしております。以上です。
1:25:30	はい、布施長です。
1:25:32	第1回もそういうふうになってたと思う。そうだと思うんですけど、
1:25:38	何て言うかパッと答えてもらえない辺り、
1:25:43	先ほど、12ページ目ですか、最新の計算手法も計算本部だって、ちゃんとしたものを作って、今月頭を周知してるんだと。
1:25:55	その中でも少し、何か漏れがあったからまた新しい作ってます。とは言ってもちゃんとやっていますからみたいな話されましたけど、
1:26:08	そういう状況だと、今の受け答えにならないんじゃないかなっていう気がしますので、今の感想ですけど、しっかりよろしくお願いします。
1:26:19	あと気になるところで言うと、
1:26:25	斜線っていう意味だと。
1:26:28	これは申請書でいうと、

1:26:32	2万3891ページですね、このマッピングですが、
1:26:41	この中身になんか書いてあっても斜線が引いてあるっていうのが全く理解できないんですけど、これ何なんですか。
1:26:52	日本語指導ですか。書いて申し訳ありません。これ、私も、
1:26:58	これがどういう意味合いなのか、ちょっと私もわかってなくて、
1:27:04	これは書いてはいけない、斜線だったかなっていうふうに思います。以上です。
1:27:13	はい。水キョッカっていうか
1:27:18	何だろう、こういうばらつきが、
1:27:21	各所にある。
1:27:23	ということなのでちゃんとやってください。
1:27:26	そうですね。ええ。
1:27:29	次2a。
1:27:39	あとは、
1:27:42	5期っていう意味だとですね、
1:27:48	これはペーパーレスに申請者さんは、
1:27:53	1537ページのところで、1.2S sのペーパーレスだんですよ。
1:28:03	一応表の中を何かよ。おそらく1.2S sであろう。
1:28:07	ということなんですけど、タイトルの地震はメインのところはS sになって、この辺も動きなんだろうなあと考えてますけど、この辺もキャッチアップって聞いてそうですか。
1:28:21	日本営業部長ですか。そう。はい。おっしゃっていただいた通り、こちら動きになります。以上。
1:28:31	規制庁営です。
1:28:34	大体こういうところも把握してますか。これもこういうところも含めて、今確認しているところなんすっていうのなのか。要は、先ほど
1:28:45	件数としては2000ぐらいでしたけど、こういうものはちゃんと入ってます。
1:28:50	日本原燃越野です。先ほど申し上げた件数は、申し訳ありません耐震計算書のところの件数として、FRSのところに関しての件数はちょっと、
1:29:01	含まれていないものになります。
1:29:07	人月を首藤さん家の方からも渡してたよね。

1:29:13	F R Sと動き熱。
1:29:14	大分違うとか、不具合の中で違うとか。はい。滋賀県の方は、計算値、機器の計算書以外にも我々としてはちゃんと把握をするっていうことをやっています、
1:29:27	今さっき説明して、
1:29:29	カウント深津だけが今、キド計算書の話し合いをしていますよ。だから、把握してますかって質問されたら、イエスでしょ。答えます。
1:29:38	はい。
1:29:39	押田さんおっしゃっていただいた通りです。
1:29:44	はい、規制庁金井です。あとですね、不破です。今後
1:29:51	00に計算書を貼りつける上で、倍数とするだろうと思って、第1回は丸尾つけてなかったんですけど、
1:30:01	第2回のときに、
1:30:04	全部つけうつも2、
1:30:07	なのか、全くつけないつもりなのか、別の方、何か何か考えております。
1:30:13	日本原燃の越野です。江藤県は第1回と同様につけないことで考えておりました。以上です。
1:30:23	規制庁です。大会はもう冷却塔みたいなものでしたし、も草建屋でしたけど、
1:30:34	最初にはちょっといろんな構造の建屋があるので、できればですね、各建屋、
1:30:41	フロア1バーが代表機器みたいなのがどういうところがいいのか、あれなんですけど、もうどっかのフロア一つで牽制も健康なり1%とか、よく使うものでいいですから、
1:30:56	要は1冊やN S E Wいうg、1枚ですとかですね、1、3万円ずつぐらいは代表として載っけておいてもらいたいなという感じで、
1:31:12	要は、建屋の大体の周期特性みたいのもある程度出ますから、そういうものは00に合ったお話がしやすいなと思ってるんですけど対応いただけます。
1:31:23	日本原燃の越野です。おっしゃっていただいたように、対応させていただき、
1:31:28	以上です。

1:31:33	はい。支店長深見です。よろしくお願いします。
1:31:38	後は次、
1:31:41	ナンバーインフォームっていうところですけど、ホームでいうとホームと直接あれなんですけど、
1:31:55	申請書でいうと、
1:31:58	2万、
1:32:03	今 3067 ページかかるんですけど、
1:32:06	このページはさっきの斜線の話にも、
1:32:13	通じるんですが、今、すべてちょっと次のページこのページですね。要は中身全部斜線で、一つの数字入ってないんですけど、
1:32:25	こういうのって、
1:32:27	なくなると思っていないよ、こういう斜線はもう、縦軸こと消されてくると思ってるんですけど、認識合ってますか。
1:32:40	高原ホシノです。こちらはですね、前のページからの繋がり、
1:32:47	んなってるかと思うんですが、
1:32:50	これ、降雨としてこれで式になるので、その数値を書くところがないんですが、これはこのままにさせていただけないかなと思っております。以上です。
1:33:05	藤規制庁今です。
1:33:10	何だろう。
1:33:12	抗体これ今なんか抗体設備ってあったんですけど剛体設備に置いて、1回も使わないようなところはそもそも出てこないと思ってるんです。他の建屋に行くと、
1:33:24	埋まるものがあるんです。ですか。
1:33:29	保健部長です。はい。おっしゃっていただいた通りここに、
1:33:35	出てきてない時には
1:33:39	スズキが入るものがあるということで、
1:33:42	ホームとして設けてるものになります。以上です。
1:33:58	規制庁、上出です。
1:34:03	今幾つか見てますけど、本当かなっていうぐらい、他の建屋も車線だけです。
1:34:09	で、一番上ではあれなんじゃないですか。



1:34:12	あと、基本はどういうルールなんですかねっていうのも非常に見にくいんです。
1:34:18	それチェックしてないから見にくいってわかんないんでしょうけど、
1:34:23	何枚にわたってこんな表が出てきてしかも数字がすごい飛び飛びのところであるのってすごい書類見にくいんですけど。
1:34:32	何か見やすくしてもらいたいなと思ってんですけど、いかがですか。
1:34:41	コサクですけど。
1:34:44	なかなかカミデ損、
1:34:47	質問だと思いますけれども、チェックしないと、何がー
1:34:52	どうあったらいいかもわかんないんです。
1:34:55	今、ちらちらとめくっていただいたところの雰囲気を感じるころっていうと、
1:35:03	類型に整理をし、パターン化するってところの検討が全然できてないからこんなつまみ食いの表で、
1:35:14	なっていくんじゃないかなっていう
1:35:16	気がしましたけど、何か。
1:35:19	累計は2分類ですね。
1:35:22	というようなところの中で、
1:35:25	変にもう、ただ、
1:35:27	ガッチャンコするしかないんだっていう、
1:35:30	そういうふうになっちゃってませんか。
1:35:44	与儀伊佐でございます
1:35:49	当然、申請書は何人かいただくよりもですね、見たときに、それが何なのかわからない、全く意味がないとおっしゃっていただいていると思うんで、ように変更になってるのも実態だと思いますとはいえ、評価の中でプロセスを、
1:36:06	文章にしても、その中にいろんな河成があったり分岐があったりするので、それをちょっとわかった上で、体系を作るっていうことはできてないからこうなってるんじゃないかなという認識をしますので、
1:36:19	そういった整理も含めてさせていただいて、こういうふうな形に変わりますという絵姿をお見せできるようにしたいと思っています。以上です。
1:36:32	はい。ちょっと駄目です。
1:36:35	よろしく願いますというか

1:36:38	これからもいくつかあります。また同じような、
1:36:42	途中で二次開発したほうが良いようなことがあれば、2月を待たずに、
1:36:46	事前の教育をしたもんですからお話してもらえればと思います
1:36:51	悩むようなところがあればですね、聞いていただいて、それは構いませんから。
1:36:56	よろしくお願いします。同じような話で、読み物ですよってということなんですよ申請書って。
1:37:08	それでいくと、
1:37:11	まずはやっぱりマスキングのところですけどね。ええ。
1:37:17	新宮の枠で文字がついちゃったんですね。
1:37:21	P D F ですごい拡大すれば見えるかもしれないですけど、
1:37:26	スイングの枠で文字が続いちゃうと、公開版でも非公開のものが見えな いってということなんで、そのあたり、気をつけてもらいたいってまず一 つ目ですが、よろしいですかね。
1:37:40	姫野ホシノです。はい。
1:37:43	おっしゃっていただいた通り決定し、
1:37:46	しますますのでマスキングのかけ方というんですかね、そこに配慮して 用意いたします。以上です。
1:37:55	はい。規制庁坂です。先ほど移したページは一つ一つ上まっ新宮する形 で、それはそれで丁寧でありつつ、文字がつぶれちゃいましたという感 じですけど
1:38:08	今映しで3万440ページかなというところだとべろっと書けていて、本 当は公開できるところも、
1:38:19	正確じゃないのかという感じがありますし、そもそも何でこんなにやり 方が、同じ事業者の申請書でなんでこんなマスキングの方が違うのかな っていうところですから、
1:38:33	あとはそもそもちゃんとすでにかけているのか。
1:38:36	0
1:38:38	出しちゃいけないところ出してないかという、一番、その次に出せると ころはここじゃないかっていうところですけど、その辺りも耐震に限ら ず、ちゃんと見といてくださいってということですが、今までも何回も心 配してるとは思いますけど大丈夫です。

1:38:59	そうです。ところも含めて、今のチェックしておりますので、確認結果を報告いたします。
1:39:13	はい。店長です。
1:39:15	阿藤、江本の資料の4ページに行くと記載漏れ文字綺麗みたいのがありますが、
1:39:27	そもそも、
1:39:32	NG出てますよねっていうところから見つかるんですけど、その辺って把握されてます。
1:39:41	根保証です。すいません。それは把握できておりませんでした。
1:39:51	はい。規制庁上出です。
1:40:00	今、図示してんのが、
1:40:04	申請者3万1401ページですね、日本の影響評価のところではありますけど、
1:40:15	今、宇津支店のみ。
1:40:18	見えます。一番下のところですけど、
1:40:21	2方向の想定に対して、機能維持、
1:40:26	確認活動により沖辺りというのを把握され、把握できますか。
1:40:35	はい。日本原燃保証です。はい。発行きます。
1:40:41	はい、規制庁上津で詳細評価のところ、場合によってこういう場合になってますけど、これ出たんですよ。
1:40:50	兵庫県の越野です。はい。おっしゃっていただいている通りです。
1:40:58	はい。規制庁亀井です。阿藤図書館サービスでもう1個ぐらいはっていう感じですけど。
1:41:12	申請書の3万4254ページ。
1:41:18	です。
1:41:20	ちょっとうまく
1:41:22	小宮カード、
1:41:25	今カーソルあったっていうところ見えないっすね。
1:41:44	表示すると。
1:41:47	わかりました。
1:41:49	日本原燃星野です。岡部で確認しました。
1:41:54	NGの数値になっているということは、確認、
1:41:58	見させていただきました。以上です。

1:42:00	はい。
1:42:02	はい、わかりました。ページは、3425 です。
1:42:08	これだけじゃないのです、
1:42:13	伐倒。
1:42:15	私も 1 日ぐらい見ただけで、パッと何ヶ所か使ってますから、あれですよね。
1:42:25	いつとか、
1:42:27	この間の補正でも N G の値訂正会合で話をした。
1:42:33	何もかわらず、こういう状況ですから、しっかりやってくださいということです。
1:42:42	表現で保障です。
1:42:44	はい。
1:42:45	ご指摘いただいた点についてもしっかりもう一度確認して、
1:42:51	内容をしっかり反映するか、計算結果も含めてしっかり確認したいと思います。以上です。
1:43:02	はい、規制庁カミデです。
1:43:06	あとは
1:43:08	本当の資料の 4 ページで言う、落丁 19 っていう関係で、ていう関係でもないです 19 っていう意味ですか。
1:43:17	そもそもなんですけど、
1:43:21	S A と D と是正、
1:43:25	検量説明の書き分けがよくわかってきたその例だけ言いますと、今これは 2 万 3650 ページの、
1:43:36	両会社の計算書ですけど、
1:43:40	もう久慈見てもわかります耐震重要施設と常設耐震重要施設としての機能を持ってるんで、二つ目次があつてですね、
1:43:53	この概要図だったら
1:43:56	モデル図がまずは、
1:43:59	減ってるんですけど、
1:44:01	そのあとまた、
1:44:04	今度、S A の設備として、おなじ概要図、おなじモデル図みたいな感じになっているんですけど、

1:44:15	ショウリヤク当然できるし、なんたら、S AとD Bなんで一緒に一つの広いまとめないっていうところもあるんですけど、
1:44:24	この辺りって今、どういう方向で修正される予定ですか。
1:44:34	ごめん、小代です。
1:44:36	まず
1:44:37	フェーズツールの部分ですけども、条件が変わらないことを示すうなりの目的で、今は能勢ペルー
1:44:47	主になります、
1:44:51	変えてなければ、すみません、古作です。
1:44:54	D BとS Aで何が変わり得るんですか。
1:44:59	保険事務所です
1:45:02	私はもう変わらないと思います。
1:45:14	日本原燃の越野です。
1:45:16	ずっとというか構造的には何も変わらなくて、
1:45:21	評価の条件としては、温度圧力が変わる。
1:45:24	ものですので、
1:45:26	三つの二つは、本来ないかなというふうに考えて、
1:45:31	以上です。
1:45:35	はい。規制庁小峯です。で、さらにその温度圧力わあぐらいが変わるっていうときに、それぞれ計算書をつける必要があるのか。
1:45:45	包絡条件でやっちゃえばいいんじゃないのっていうところもあって、材料構造はそういう形で計算して作ってると思うんですけど、何で分けなきゃいけないんですか。
1:46:03	日本原燃星野です。
1:46:06	現状、申請した時にはそれぞれの計算結果をお示ししようということ、分けて、
1:46:15	申請書を作ったということになります。
1:46:19	包絡した形で計算結果をお示しすることは可能ですので、そういったことも考えていきたいと思います。以上です。
1:46:29	特性超過です。小浦空した店舗を示すことも可能。
1:46:35	原油、そもそも、
1:46:38	なぜ何のために類型化っていう話をしたのか。
1:46:42	そういうことに立ち返れば、申請書等あるべき。

1:46:46	ということがわかって、それはもう、
1:46:50	今まで何回も県もみずからの言葉で、こういうふうな申請、申請、申請書作り、
1:46:57	していきますってということなんで、どうあるべきかと思いますので、
1:47:05	は、
1:47:07	事務局は福崎ちゃん、持田さんとか、通過してくださいってことなんですけど、ちゃんと中でお話をして、こういう姿があるべきだと。
1:47:19	いうところを掴み、それを施設課に展開しないと、今も、今まさにこの瞬間も施設課の人たちは無駄なチェック作業をしてると。
1:47:30	ということだと思いますからしっかり対応しないと、
1:47:36	なかなか
1:47:38	前進まない。
1:47:39	受けることだと思いますので、よろしく気をつけください。
1:47:46	日本原燃、星野です。
1:47:49	結果を踏まえた、経産省のあり方を社内でもう一度調整した上で、反映していきたいと思えます。以上です。
1:48:03	はい。瀬戸カミデです。あと
1:48:07	項目としてはちょっと関連しないかなってところで気になってる点としてまずお伝えします。
1:48:16	今これ、
1:48:19	先生じゃ2万3759ページ。
1:48:24	これはあれですね、漕ぎつけの除草の解説モデルが載ってるところ
1:48:31	Dモデル所見が出て、
1:48:36	拘束条件、完全コースとかって言ってますけど、どこが完全拘束なのか。
1:48:45	このモデル図見て、私はどう理解すればいいのでしょうか。
1:48:56	薬師寺です。
1:48:58	点線これが何の危機だったかをもう一度、
1:49:13	そうですね、日本原燃大城です。
1:49:19	この図だけでは、ちょっとどこがどのように完全拘束なのかは確かに、
1:49:26	説明としては不十分かと思いました。

1:49:31	長期のそういった面も完全拘束だと、こういった形で完全拘束なのかということを、説明する資料に、記載を見直して参りたいと思います。以上です。
1:49:48	はい。規制庁カミデです。
1:49:52	説明しなきゃいけないことは、モデル上でのほう素空調系の補足の1と、あとは、この貯槽でいうと、この
1:50:04	支持構造物と冷却ポイントの接続条件がどうなってるかとか、
1:50:11	等、
1:50:12	今般、
1:50:15	支持構造物等、外側の胴接続もおそらく
1:50:22	固定と言ってますけど、その動画実際
1:50:27	であると、いうことがこれ前提条件ですから、そういったことはその構造の概要としてちゃんと説明をしてもらわないと、
1:50:39	この入力地震動で評価して良いいものなのかわからないし、あとは支持構造物トレイ（イ）の接続部に対してどんな応力が出るとかそこは小ほんとに
1:50:53	評価今省略したいと思いますけど、
1:50:56	省略しちゃうじゃないとかですね、実はここはUボルトみたいな拘束なんで、何ですとか、
1:51:07	そういうことも全くわからないまま、パパッとこう図面がつき、
1:51:13	何となくモデルが離れると言われても何か僕は動かない、さらには寸法も何も入っていませんので、
1:51:24	そういうところは今の修正作業では手をつけてないんじゃないかなと思って不安に思って期待をしてるんですが、どんな感じですか。
1:51:36	日本原燃の首藤です。今おっしゃっていただいたこのモデルルーについての修正というか、記載の拡充みたいところは現在、修正対応には考えていないところでしたので、
1:51:53	はい。修正
1:51:54	していっぱいしたいと思います。
1:51:56	です。
1:51:59	東北成長管理です。修正をする前に、

1:52:04	概要図に何が書いてなきやいけないのか、モデル図2どこまでの情報落とし込まなきやいけないかって言うことを、やっぱり最新経産省公務って、
1:52:17	作成サンプルっていうものに落とし込んで、書請求するっていうのがホシノさんの仕事だと思いますのでそこをしっかりとってもらわないといけないと思ってます。
1:52:29	でも、機器で
1:52:33	とりあえず話をしましたけど、
1:52:35	会館の方もなかなか、
1:52:40	例えば、今映してるような、これは申請書で上に4813ページ。
1:52:48	この配管は結構ありますね詳しく先方が載ってますんで高速なんかもよくわかる感じになってますけど、おそらくこの辺は、
1:53:00	除けば、安価なんだろうなみたいな感じですか。
1:53:07	一方で、
1:53:11	今、別紙2万4842、これ多分、工認モデル、ただ、
1:53:17	なんですけど、記号の補足条件の記号が違うような感じがしますし、
1:53:27	その辺りと、
1:53:30	使う家も、
1:53:32	ちゃんとできていない。
1:53:34	いうことで、
1:53:38	見えてますんで、
1:53:41	どこまで書くべきなのか。
1:53:43	その辺はちゃんと整理をして必要なものを、必要なだけ書いてもらうというところで、まず整理をいただきたいと思いますので、よろしく願いします。
1:53:57	保証です。
1:53:59	はい。
1:54:00	先般のモデルについても、
1:54:03	結構拘束条件の希望ですとか、そういったものがある。
1:54:07	ちゃんと統一した形で、こういったことを書くのかっていうことを整理して、反映して参りたいと思います。以上です。
1:54:16	補足です。
1:54:18	牛尾さん、どうやって作業を進めるつもりがイメージできてます。



1:54:26	表面ホシノです。今日いただいている箇所を含めてもう一度モデル図を見てですね、
1:54:35	どういう記載になってるかをまず把握した上で、何を書くべきか、整理して、こういうふうに書こうという
1:54:43	サンプルを作って展開していきたいなと思ってます。
1:54:46	以上です。
1:54:48	コサクですけど、
1:54:51	それ、ちゃんと自分でできると思ってる。
1:54:56	表現の後です。まず自分で確認はいたしますが、社内では有識者の方に
1:55:05	こういう内容でいいかということの研究してもらいながら進めていきたいと。
1:55:10	以上です。
1:55:13	補足ですけど、だってその人たちが、今回の資料作ったんでしょ。
1:55:18	説明するつもりがない人たちにこれで十分かって言われて、
1:55:22	全然信用できるものにならないと思うけど、
1:55:26	それ学科にばらまいて持ってきたらまた我々に駄目だしクラブっていうのでいい。
1:55:33	利用料1回作って、杉田右田の方からな。
1:55:42	はい、日本の保証です。
1:55:45	ちょっと今、認識を改めまして作成要領というか、こういうふうにモデルを、を書くかというところを、
1:55:56	1度、
1:55:57	要領みたいのを作ってますね。
1:56:01	例えば、ヒアリングで資料見ていただければなというふうに、
1:56:06	考えました。
1:56:07	よろしいでしょうか。
1:56:10	日本イシハラでございます。私も入ってまず自分たちの考えを整理をして、体系先ほど類型化したのに、何もなくなってるよねってところとか、
1:56:23	その分岐も含めて、全体こういう構成じゃなきゃ駄目だよねっていうところの整理をさせていただきます。その上で、今の全体の体系、こういう構成でこういう役割分担で、

1:56:34	ここにはこういうことを書いて作ってですね、それを資料として提出をさせていただいて、ヒアリングをさせていただくという段取りにしたいと思えます、こちらで、
1:56:47	そういう姿を考えたいと思ってます。はい。以上です。
1:56:53	はい。補足です共通 06 だっただったり、作成方針がわかるようなものもありましたし、今の話で言えば、
1:57:04	作成方針とか、添付のう後段部分で書きあらわされてもいいような話もあったりするので、そこで、そのブラッシュアップっていうことであれば、今日、
1:57:17	00 資料 B C 4 ということにもなると思うんですけど、
1:57:24	いずれにしても、早め早めに、
1:57:28	状況を整理をして、展開具体の展開する前にしっかりと、
1:57:34	問題点を洗い出すという作業を進めるようにお願いします。以上です。
1:57:43	はい。乳井西田でございます。はい承知いたします。まず何が悪いのか、あるべき姿をしっかりと、そういうのがまず大事だと思います。そういう作業も含めてさせていただきます取り組んで、はい。以上です。
1:57:59	はい。育成長官です。あと、私からの気づきと最後に、一応思ってます。今辻 1000 ページが、
1:58:10	3 万 4264 ページのところ、ここは今、この画面見てもよくわかんないと思うんですけど、1.2 S s のところ、
1:58:22	ですね、
1:58:24	私に関わってみて思ったのが、1.2 S s に何 D C の結果が入ってんだと。
1:58:31	そういうところなんですけどそもそも、
1:58:34	よく見ると、右側は S s の結果で一気に S s になってませんと。
1:58:40	いうところなんで、
1:58:44	私が最初思ったこれ、今 1 個前のページになってますけど、1.2 S s 時は書いてある。
1:58:50	ということなんで、
1:58:53	1.23 S D なんかやってるんですかっていう質問ではなくて、多分、貼り間違えが起こっているんだと思いますけど、とりあえずそんな状況だと思っていいですかね。
1:59:07	星です。こちらの例示はカミデさんがおっしゃっていただいたところ、当時計算書の位置は、相違してるものと思われます。以上です。

1:59:21	はい。清長官ベース。
1:59:25	なんで、
1:59:31	全く新ような経産省、
1:59:34	になって、
1:59:35	そもそもNGEM出てますから、どうしようもないんですけど、
1:59:40	これで何認可して、
1:59:44	くださいって言うてるのか、全くよくわからん。
1:59:48	計算書申請書が出てきたなという感想です。なんですけどDSs評価じゃないから、これもSEの欄、全部いらないんですよ。
2:00:01	波及影響のところもおんなじでSDやんないのに、スピード欄があって、斜線だったり、パーあったりっていうことなんですけど、この辺りもちゃんと綺麗にしてくださいってことを、
2:00:14	なんですた以上です。
2:00:18	補足です。それとさ、さっき
2:00:22	BSM求めてっていう話になれば、おのずとなくなるような気もするし、
2:00:28	まぜ、或いはそのサイドの方のフォーマットで、無用な、
2:00:34	斜線をよねというようなことだったりってあるので、全体、よく考えて、評価体系、計算書の体系と、
2:00:43	いうのを整理した上で、どうしていくかっていうのを改めて聞くっていう方がいいんじゃないですか。
2:00:50	はい。深見です。ありがとうございます。そうですね先ほどの話の続きでズキ低下フォーマットをしましょうというところ、失礼かと思えます。
2:01:01	耐震でもそういうパソコンの場所はつけたんですね粒径鏡でこんなフォーマットにしますっていうものをつけて第1回だから冷却としかなくて、それが進んでるうちに何かなくなったような感じもしますけどいずれにしても何かしら資料につけて、認識ををする。
2:01:19	へえ。
2:01:21	ものを早めにやらないと、進まない、うまく進まないということだと思います。
2:01:27	よろしくお願いします。
2:01:31	ちょっと長くなっちゃいましたけど、私の

2:01:34	方から運営、おそらく木造でなさそうだなって思ったところは、以上です。他、規制庁側から何か。
2:01:51	ちゃわないです。
2:01:54	ちょっと先ほど神戸カラーVと色々な指摘があったんですけども、これ品証体系、ホシノさんの位置付け、それから作ってる。
2:02:04	提出か要点施設かといってもこれメーカーから聞いた資料、聞き入っていますかですね、まとめて、あと品証部隊という中で、
2:02:15	今回、例えば今日カミデから指摘があったような、垂鉛ってというのは、本来のことで見つけるべき品証の、或いはその誤りの、
2:02:26	受講であって、それを今回、例えば施設の問題につけなくちゃいけなかったものを見つけられなかったのか、やはりこれある程度太陽光が出てない人間がですね幾ら見てもわかんないんですよと言ったら、
2:02:41	ある意味の、
2:02:44	沖といいますか、そういう観点はですね、そこら辺がですね、来賓性からなかなかその内容は全然わかってないなっていうふうなふうに受け取ってるんですけども、
2:02:55	第1回申請を踏まえて、そこら辺のチェック体制、今現在も何かてこ入れだとか、変えるとされてるんでしょうか。
2:03:12	ごめん。後です。まず、
2:03:15	このチェック段階で、
2:03:18	確認見つけるべきだったかっていうところですが、おっしゃっていただいた通りわかっている人が見つけられないポイントはあろうかと思うんですけども、単純な誤記とかの空白とか、いらぬ斜線とかですね、そういったものは最初の作成した段階のところで、本来は、
2:03:38	気づかなければいけないところで、
2:03:40	サトウ、
2:03:43	経産省間で、記載の方法が違ってるとか、そういったところは、私たちの方、
2:03:49	2層目のところで、
2:03:51	付けなければならなかったかなというところで、
2:03:56	チェック体制のあり方については

2:04:01	今、どう、どうするという事は、ちょっとまだ検討が至ってないので、その辺に関しては、ちょっと社内で一度検討させていただきたいと思います。以上です。
2:04:14	お願いします。すいません。弓削仁科でございます最初のところに、今日お話が出た一体何が問題だったのか、根本的に結局は時間っていう話もありましたけど、
2:04:28	時間があったら出たのかっていうところの問題をちゃんと認識をして、問題点を改善しないと、結局は同じことを繰り返すだけだと思いますので、今回、大南どこの階層がチェックしてなかったんだと酸素は
2:04:45	注意喚起じゃないですけど、スケジュールとの関係で、身の丈に合ってるかどうかっていうところをしっかりとチェックするレベルとしてた申請すべきレベルかどうかっていうのを最終的に判断をするってところはできてなかったという話をさせていただきました。
2:04:59	一層理想の方で、やるべきことがちゃんと整理がされて、それを、
2:05:05	時間がなくてできなかったからこうなったとか、そもそもやれること、
2:05:09	傾向なりやり方が間違っていたら、時間があっても多分同じことになると思うんで、そこをしっかりと我々として分析をして整理をすると。
2:05:18	ということだと思ってます。はい。
2:05:21	はい、沢です。ちょっとそこら辺でして、
2:05:25	第2回申請がさ、提出されて、今後どうあるべきかというところをもう1回ちょっとやっぱりしっかりとてこ入れといいますかですね、考え直してもらいたいというところなんですというのは我々も、こういう細かいところをですねチェックする機関じゃない。
2:05:38	そこに目がいっちゃうとどうしても大きな抜け漏れっていうところに、見過ごす恐れがどうしても生じてしまうんですね、しっかりとやっぱり提示されてる提出される資料に関しての品質の確保ということは、しっかりとしてもらいたいと思います。
2:05:55	以上です。
2:06:00	はい、右田でございます。
2:06:02	私が答えるんだと思いながらも体制として原理としてしっかりと、そういうことを整理をして今一応、やはり認可を独唱以下と、いうことは先ほど亀井さんから出ましたけど、そんなふうにはできてないと思いますので、

2:06:19	ちゃんと申請をしていいか、住宅レベルのものにするということが一番最低限必要なことですので、それをちゃんとさせていただくというものかなと思います。はい。
2:06:32	はい。規制庁亀井です。よろしくお願いいたします。
2:06:35	以上です。
2:06:40	大坂です。大体言っていたらいいんですけど、
2:06:46	QMSの体制で整理ができてないわけでは全くなくて、
2:06:50	整理はできてるんだけど、実行してないっていうだけ。
2:06:53	だと思います。
2:06:55	或いはそれを認識してないっていうかですね、実際から実行できないってことなのかなというふうに思いますけど。はい。
2:07:02	それーを傘下に年間話ししてきたわけで、
2:07:10	認識してだけどう。
2:07:12	実行する時間がなかったというような書類にはなってますけど、本当に大丈夫かっていうのが先ほど1社さんが言われた。
2:07:20	ということかなと。
2:07:22	で、今後しっかりやっていたダークということに尽きるんですけど、
2:07:30	それにあたっては
2:07:33	少なくともNGの出すとかですねというのは、見てないってというのは明らかかなわけで、
2:07:42	見てないと、チェックを素通りさせて意図的に素通りさせたということではないから、
2:07:50	これは相当不適合になるだろうと思いますけど、そういったところは何か手続きとか取ってたりするんですか。
2:08:01	あったと思うんです。指導させたところについて、いろんな要因がしっかり分析しないと駄目だと思います本当に愛さから言いました通り、時間の問題なのか、そもそも時間があつたとしてもどうなのかというところ。
2:08:15	そこをしっかりと分析した上で、当然の社内としてはCRとして、これー登録して、
2:08:23	再発防止、しっかり取り組んで参りたいと思っております。まだこれ自体、チェックしたところなので、CRをこれから進めていきたいと思っております。

2:08:33	秋谷含めて、もちろん。はい。
2:08:35	以上です。
2:08:38	子育てですけど、ちょっとよ、私は現場検査官をやった経験がないので申し訳ないんですけど、CR起票するのって、原因分析してからでしたっけ。
2:08:51	原則です。いや事象が発生した時点では、
2:08:59	そうです。ですよね。はい。何か今の説明大分違ってるとは思います。
2:09:06	はい。事象発生しているんですけども、全体がまだ泰然
2:09:15	完全はingでやってるといふところがあったので、申し上げましたが、
2:09:22	評価の沿革があったという点や登録すべきだといふふうに考えます。
2:09:30	はい、そうです。そうじゃないかなと思うんですね。その時に、今日の資料の表紙との関係もあるかもしれないんですけど、
2:09:40	ある程度想定されるのであれば大枠側で登録をしておいて、その内数として答えを少しずつ拡充していくといふところで、
2:09:50	影響範囲とかを考えていけばいいし、仮にその限定しちゃったとしても、
2:09:57	そのあとの是正処置のところでは展開範囲を決めればいんであって、まずはちゃんと問題意識を持ったように、形を作るといふことなんじゃないかなといふふうには、
2:10:11	もし、いずれにしてもそのチェックがちゃんとできないといふことは、3段も実証されてきている。
2:10:20	ところですから、対応をしっかりとっていただけて、
2:10:24	いふことで、その点では
2:10:28	会合2回ほどですね、
2:10:32	責任を持った方がちゃんと現場を確認し、設計増床把握し、いふことをやるといっているのか
2:10:42	ちゃんとできないと、当然チェックもできないといふことなので、なるべくしてなったのかなといふ気もしていますから、
2:10:53	継続してと言われてるところをしっかりとっていただければと思います。以上です。

2:10:59	日本原燃佐藤です。承知いたしました。まずは対応してください。しっかりスケールバーだけではなくて、今後発生させないと、これをしっかりちょっと確認して参りたいと思います。ありがとうございます。
2:11:14	規制庁菅です。他規制庁側からこういう視点でもチェックしていた方がいいよっていうのですか。
2:11:26	長田です。すいません。こういう視点でもって言うのではないんですけど、先ほど今後やる進めるにあたって、まず方針的なところとかは、
2:11:37	整理してということをお話しましたが、そもそもでいうと、第1回申請の審査、再から累計の話をしたというの、
2:11:48	第2回に向けてのことで話をしていたわけで、何でそのときに、こういう、
2:11:54	事が起きないように、
2:11:56	整理をするという意識を持ってやらなかったのかということが非常に疑問なんですけど。
2:12:02	ちなみに越田さんとしてはどう思っていた1回だけ話をしていた。
2:12:08	現状こういう状況であり、先ほどのやりとりでも、進め方としてちょっと無理があるようなことを言われてたっていうところもあって、
2:12:18	第1回の時ってどう思われてたんですか。
2:12:29	日本原燃保証です。第1回の
2:12:33	ヒアリング等、
2:12:35	踏まえていって、耐震検査を1人減らしていくという対応が必要だということで、
2:12:42	第2回に向けての転科はととも
2:12:47	が多かったので、
2:12:49	どういうふうに、
2:12:50	減らせるかということ、
2:12:53	考えながら進めて参りましたが、
2:12:56	1回の
2:12:59	補正対応ですとか、そういったものが、
2:13:01	今回の申請目標時期に近づいてしましまして、
2:13:06	向井の対応が
2:13:08	今回の計算書を踏まえて、
2:13:12	その記載内容、記載の仕方とかを展開するという意味ではちょっと



2:13:18	対応が非常に厳しいなというふうに思いながらも、至急の対応、施設課にお願いしながら対応してきた。
2:13:27	以上です。
2:13:31	コサクです今説明されてるところだと、今日お話があったようにその11月までもいろいろと考えてやってきたし、その後、第1回のお話を踏まえながら、展開を整理して指示をしたと。
2:13:46	いうところが、
2:13:48	嘘とは言わないけど、ほとんど実効性のないところで無理くり、整理できてないけど、投げたという時間を間に合わせるために投げたとしか聞こえない。
2:14:00	そうですね。実際はそうなんだろう。
2:14:05	で、
2:14:07	ずっと曲がって投げたっていう時にでも、最低限これぐらいはやんなきゃいけないとか、
2:14:13	いうところを、大丈夫ですかってこちらを聞いていたにもかかわらず何も言わなかったっていうところがやっぱり意識が足りなさすぎるということだと思いますし、
2:14:23	先ほどのこちらから話をした後の対応し、
2:14:27	もう無理な言い方をするとということだと思いますので、もうちょっと現実を見てです。
2:14:35	しっかりと自分の責任を果たすというところでどうやるべきかというのを考えながら、対応いただいた方がいい。
2:14:43	これはもう、すいません。
2:14:44	今日の話でフジノさんだから、50ミリって、
2:14:48	現在、そういうところがあると思いますので、よろしくお願いします。
2:14:56	日本原燃吉尾です。はい。
2:14:59	日本原燃佐藤です。はい。そういったことが事務局の方にも声が届くような、そういう環境も作っていきたいと思います。ありがとうございます。
2:15:14	清長官ほか、大体よく言うかちょっとほかの話になってるんですけど、今日在庫の担当の方をてもらおうようにお願いしてたんですけど今出席されてますかね、産業構造。
2:15:31	はい、井上の方でございますはい。

2:15:34	担当出席してございます。
2:15:38	藤政調会です。今の耐震の記念の計算書ということでいろいろお話をし て今回、市長も出てきて、具体的に物を見て話をしましたけど、材料構造 側の経産省を、
2:15:55	としては、何か対応、どんな感じにしていこうかなってあります。
2:16:01	の方向でございませうはい。今、大シーン、お話いただいたところ、材料 構造に当てはまるところ多々あります、同じようなところいっぱいあり ますので
2:16:13	これ今確認してるところもございませうが今後も含めてですねしっかり対 応して、耐震等もよく長くとりながら、全体横並びをとりながらしっか りした申請書をつくれるように対応していきたいと思っております。
2:16:28	あと、規制庁カミデですので、しっかりした申請書の前に 00 に計算書 を貼りましょうという話で、先週の段階だと、まだ
2:16:39	我々の方もそこまで見てなくてパッと見た感じだったんで、そのまま、 申請の内容をそのまま徐々に経産省反映して話を進めるのかなと思って たんですけど、
2:16:52	そのあと読み進めてみると、結構機電と同じようなところがあって、N Gの結果も幾つかありますし、
2:17:02	あと、そもそも文字見えなくてなかなか確認できないところもあるし、 そのフォームのところですね、楨前ほどではないにしても、結構ひど い。
2:17:12	いう感じなので、00 をどういう。
2:17:17	タイミングで出していこうかっていうところの話ができればと思いまし たけど、いかがですか。
2:17:23	はい。近江大久保でございます。
2:17:26	私、
2:17:27	そうですね
2:17:29	合わせてといたしますか今一度チェックして、直すところ。
2:17:34	直すべきところを医師会直し、
2:17:36	た上でまた下げる、ちょっと作成要領的なところの話もありましたけど もそういったところも一緒にやりながら進めていこうと考えております し
2:17:46	ある程度直したものを 2 月中旬をめどに、

2:17:50	材料構造としても出し直した上で、進めていきたいなというふうに考えてございました。以上です。
2:17:57	入園者です。大保さんそもそも全体がわかってないのに何で2月って見える。
2:18:05	はい。まず調べて、今把握してるのもあるけど絶対調べて、
2:18:12	その上で、どうあるべきかと比較をした上で、形態を作ってやるっていうのが、
2:18:19	それぞれを調べていく作業部品も把握しないと、今本当2月中に行っても大丈夫。
2:18:29	はい。4名の方でございますはい。すいません。ちょっと。
2:18:32	すいませんちょっと石井が、
2:18:34	足りなかったというところで、ちょっと実態全体把握してですね今おっしゃっていただいたようなところを確認してから進めたいと思います。以上です。
2:18:48	はい。規制庁甲斐ですわかりました。というか、適宜進め方、協議をいただければと思います。
2:19:00	そうですね耐震と7という在庫は耐震建物とか、
2:19:07	確認機関があるので、こちらから、特に
2:19:12	急いでっていうこともないんですけど、在庫は若干気になるっていうのは、別に町になったからといって、我々に不都合があるんです。
2:19:21	その辺りを踏まえて、計画、また提示いただければと思います。
2:19:28	他、
2:19:31	シェアの4ページまでのところ、
2:19:33	よろしいですかね。
2:19:37	あと、なければこの後5ページ以降ですか各条の関係というところで少しお話ができればと思ってますで、多少、
2:19:47	ヒアリング個人云々
2:19:50	わかっていますけど、あと少しなんで、このまま進めちゃって一見いかがですか。
2:19:57	はい。日本原燃事務局中浜です。はい。進めてください。よろしく願いします。
2:20:04	はい。政調会です。続けて資料の5ページ以降のところですよ。

2:20:13	全体の体系が5ページに関して、添付書類との関係が、大体5ページにありあと多忙とい出納薬品。
2:20:23	安定性っていう関係条文の話がありますけど、
2:20:28	基本的には今日話が聞きたかったのだとかいうところなので、東條耐震等全部っていうものは、
2:20:38	どういうところにあるのかと、あとはその、その中で各条との関係がどうなってるかっていうところなんですけど、
2:20:46	とりあえず事業者から一旦説明を聞いた方がいいですか、簡単でいいですけど。
2:20:53	はい、上西でございます。説明私の方からさせていただきます簡単にさせていただきます。今、亀井さんがおっしゃっていただいている5ページが、全体像になります。下側に点線で、
2:21:06	葛西一成か役員後一気にS sの話がぶら下がって、それぞれあります。それぞれのシートが6ページ以降に会う際、
2:21:17	頑張って、
2:21:19	6ページ以降にあります。火災の方は登場人物は、それぞれの火災の
2:21:27	管理設備であったり消火設備であったりというところが、耐震設計の対象になります。それが6ページの真ん中の別紙4-2と書いてあるところで、
2:21:38	対火災防護設備の耐震設計というところに関して償還を、設備していくということでございます。それがそのまま耐震側に検査結果として示すという流れになってます。
2:21:50	7ページ8ページ溢水化学薬品で同じような体系と7ページの溢水ができますという所については、大きく分けて二つです。一つが真ん中にあります。
2:22:01	6-1-6-3という定率影響をに関する評価方針と書いてあるところから、右の1-1-6と
2:22:11	S AとそのBCクラスの設備の耐震設計の話があります。
2:22:17	もう一つはその下側にあります6-1-1の6-5という溢水防護設備、いわゆる堰とか、もう防水扉とか、そういったもののパーツがいっぱい来るといふ二つの大きな流れがありますということでございます。

2:22:31	同じような体系で、真ん中にあります、仲野さんとかの方から、川瀬井上ゲート防護設備みたいなことが、耐震なり評価結果として流れてくる。
2:22:45	そういうことでございます。
2:22:47	動物は、すいません書きながら、いまいはっきりしないのが9ページでして、N-Sの方は目算がありました。
2:22:57	重大事故6-1-1-4ですね健全性の事業地区を説明書ここで、6ポツで地震を要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計をしないといけない登場人物だったり設計方針を伝えて、
2:23:11	個別の話は、その下の4-2-3というパーツでいきます。そこで、耐震側の応答設計方針とのひもづけという意味では、全体像が示されて、耐震側に預ける。
2:23:23	という形で整理をしております。
2:23:26	それをちょっと明確にわかるように、整理をしたかったんです。まだちょっと、いつもの条文ごとについて通りの値となってしまいます。すいませんでした。以上です。
2:23:40	はい。規制庁管ですこのお話したかった目的は進め方なんです先ほどとりあえずは建物から行きましょう。
2:23:51	まず8番をやる感じになっていて、他の建物系のサービス、途中から藤堂が入ってきますと、それ層厚次第だと。
2:24:03	耐震の起点側の修正の主監査しつつ、労働が終わったころには、ちょうど
2:24:13	ちょうどどうかかわかんないんですけど、記念の
2:24:16	計算書がついて、ちょっと話を進めますね。いや全体の流れはそんな耐震だけ見るとそんな感じだろうなというイメージができたんですけど、ちょっとわからないのがその他条文との関係っていうところなんです。
2:24:32	耐震で、
2:24:35	どんどん話を進めていても、例えば、竜巻防護ネットの計算書みたいなところを見ていっても、竜巻側で設計変わっちゃったら、それまでの話全部お茶になっちゃうってところもあるし、
2:24:51	なのでその部分が立つ抜きで、これぐらいの話をしてから、耐震タカハシ層、

2:24:58	あとそれとは別に切り込むこの部分が切り分けられます。S AのところなんかはS A設備一つ一つ、網羅的にリストアップしなくても、大体こんなものがあるっていうのはわかってますから、ベースのためにタイプがあるんだから、
2:25:15	その連携にはみ出すものとかあれば、あとでやればいいだけの話で、ちゃんと
2:25:21	慣例の話がどんどんやってますとかですね。だから、36条との関係はさほど強くなかったりとか、
2:25:30	いうことをすべての条文と耐震の条文という関係にあるかっていう開け形で説明カタノ認識を合わせたいなと思ってお願いをしているんです。
2:25:43	なんで今日の資料は別紙4とかについては、もらえればいいんですけど、その進め方っていう意味でもうちょっとちゃんと認識を合わせたいと。
2:25:53	いうところなんです。まず、ニーズとしては、1回いただけましたら、
2:25:58	はい、宮城委員さん、ございますはい。理解しました。
2:26:02	おっしゃっていただいたことをしないといけないという時も、昨日のフレックス進め方各条文の、今説明のフローがあって、それがどこの条文とどこにひもづくんだと、その前提にある条件で、
2:26:16	ここでは明確になるんですかみたいなことは、ピンクとしては整理しなきゃいけないと思ってましたので、そういったものを整理をさせていただきたいと思います。以上です。
2:26:28	はい。瀬戸監事です。そういう進め方って、どういう形で聞くのかなっていう感じなんですけど、また全体としてまだヒアリングをするのか
2:26:39	耐震なんかはもう耐震のヒアリング、どんどんセットしていますんでその中で、スケジュールなんかとも合わせて説明が聞けるのかっていう感じなんですけど、どうですか。
2:26:53	はい、泉谷でございます。ちょっと私の方も頭の整理をさせていただいて、全体で出していただかなきゃいけないってことはないかなと思いますので、全体のスキームはちゃんと案分整理をして、
2:27:06	また皆さんに聞いていただくということだと思ってますけど、特にスケジュールを組むときにその全体の流れを意識しながら、それぞれの適切なタイミングでパーツが入ってくる。ただ

2:27:19	ヒアリングのステージを含むときに、いやこれはこっちがまだ終わっていないんで、もうちょっとずらさないともずいですみたくないなことを、我々の方からお話をさせていただくということかなと思いますがいかがでしょうか。
2:27:34	はい。規制庁甲斐です。進め方はそんな感じであと、ディテール青井って感じかなと思います。
2:27:42	あとあれの形状、うん。
2:27:46	耐震トップの条文が関係あります関係ありませんみたいで、
2:27:54	例えば、多分そういう相関関係っていうマトリクスみたいなので、作ったことありましたっけ、写しやっぱ印刷とかもなかったんです。
2:28:05	ジャストのものはないですね。ただ作らないといけないとは思ってまして今日作ったものも、耐震計算のダイレクトに他の条文から来るやつやっていますけど、例えば5ページによる。
2:28:18	4-1-1-13 でいう地震時の臨界安全性検討方針、これも、
2:28:24	要は、この地震回収の話をしなきゃいけない対象が、一体何があって意見を、じゃあ誰がまず明確にするんですかみたいなどの条文でやるんですかっていうのもありますし他の条文でも、
2:28:35	耐震と関係するものがあるんであればちゃんと網羅的に最初に挙げた上で、この整理表でお互い話をして、どれが関係するんだっていうことを、
2:28:45	急ぐ必要があるかなと思いますので、それはそれで結構作らせていただいて、どこの共通がどこかの、
2:28:54	補足説明資料に入れさせていただこうかなと思います。
2:28:58	はい。規制庁亀井です。わかりました。
2:29:03	そうですねでそれがわかってればあんまり進め方をぎりぎりやる必要もなく、その頭に入ってるっていう、お互いちゃんと頭に入ってる、適切な順番で話を聞くんでしょから。
2:29:14	それでいいのかなって感じがします。いきなり共通ってわけじゃなくて、とりあえずは今までやってない話だから、耐震各条との対応で、この状況は全く関係ない、この上部、こういう関係にあるというのだけ。
2:29:28	また話ができれば来週でもできればなと思いますけど、いかがですか。

2:29:35	はい、西田でございます。それは、準備を速やかにして、来週お話をさせていただきます、対応させていただきます。
2:29:46	はい。規制庁亀井です。わかりましたよろしく申し上げます。私からは以上です。成長がかなりちゃう。
2:29:56	そうです。ちょっとわからないので話がずれちゃうかもしれないんですけど。
2:30:04	等、
2:30:07	5ページと6ページ以降のやつは、5ページが耐震であって、他からくるものがありましてというのを受けが書いてあり、5ページ以降はその他から、
2:30:21	大臣に行きますよってというのが書いてあって、5ページと6ページ以降というのは整合している形なんだと思いつつ、整合してるように見えない。
2:30:32	ですけど、まだそこはあれですか。
2:30:36	整理主な先生が2010年ですけど、或いはこの書類がちゃんと書けてないだけなんだと一般でしょ。
2:30:43	はい、弓削石田でございますまず前提として、この
2:30:48	資料5ページ、6ページ。
2:30:50	それぞれ、整理が間違ってるとこができてないところがありますんで、6ページ以降ですね、ここをちゃんと整理をしてお示しをするようにします。自分で説明しながらこれは駄目だっっていうのがわかっていることもあるんで、
2:31:04	そこは申請した以降ですね、速やかにそこは整理をして示させていただきますので、今の時点ではすいません
2:31:13	違和感があると思いますコサクさんにするんですね。はい。以上です。
2:31:17	はい。補足です。わかりました。整理をして場合によっては、現状の申請でも駄目だからこうしますっていうことかもしれませんけど、会議いただければと。
2:31:27	つって、はあ、念のために、100ページの共用という緑色ですけど、
2:31:39	これも1だけ、計算書類にしていくかというところによって運用されるのかどうかっていうような気がする。
2:31:54	池町と郡山技術です。



2:31:57	はい。はい。名称だけで計算をして、悪い形になったり切って何か全然できてないです。
2:32:12	それで、そこも是正か整理をしなきゃいけないと、いうふうに認識をしてまして、なぜか、何てないかって単純に例えば6ページですけど、これはもう明らかにわかってなくて会計になっておるのが、
2:32:26	真ん中のところに耐震性に関する説明書の作成という点線がありますけど、その中から、4-1-1の耐震設計の基本方針と4-1-1の耐震計算に関する
2:32:39	基本方針後…って書いてますけど、何をもとに、この
2:32:44	3-1-2を作るのか、その下の耐震時の4-3の体系を何に基づいて作るのかっていうのが全然インパクトと、どこの関係が整備してないのこの作ってるっていう、この絵を
2:32:58	こういうふうにしてしまう時点で、全体像が分かってないっていうことかなと思いますので、1期とかの累計をした計算書の示し方を私どこにこれを、
2:33:10	管理設備辺りが入り込むのかってのも含めて整理をして、全体像がわかるようにしていかなきゃいけないってのが今の認識でございます。以上です。
2:33:20	はい。それから下の整理、
2:33:25	主、それで、次7ページ8ページなんですけど、
2:33:31	今のような話を置いといて、
2:33:36	左資料ページとも左下に
2:33:40	6-1-1-4。
2:33:43	の資料があって、それが少し上に上がって、
2:33:51	-3という資料に入ると。
2:33:54	いうことになってるんですけど。
2:33:59	と、これは比較的早めの段階でDBSA求めて、整理をしますよっていうことになっている。
2:34:07	その理解でいいですか。
2:34:10	はい、西田でございます第1回の目的にも、議論をさせていただいて、基本設計方針の6ポツの再処理施設の一斉が始まるのはこれDBを対象にして始まると。

2:34:25	土肥仙石の設計とか、対象設備の設計への6-1-1-6-1のところではまだBの話だけを一生懸命している状態です。で、それを同じSAの話を、6-1-1-4で、
2:34:41	やって評価をここで脱退させるっていうイメージで、もともと構成をしてましたのでそういったものを的に示したということでございます。以上です。
2:34:56	小澤です。評価のっていうのは、評価の更新のところからもう入ったりで、そうですね。はい。そういうことです。
2:35:05	はい。
2:35:06	わかりました。で、その上で6-1-1-4はこれから聞かなきゃいけないところでもありますけど、大体許可で話を聞いてますんで基本は-3というところで、
2:35:20	一体となってどう評価してい。
2:35:23	ているのか差分はどう扱うかみたいなのは、確認できればなというふうに思って。
2:35:31	す。そうすると、ヒアリングとしては、
2:35:38	江藤、そちらだと、グループ1って言ってるんですっけ。
2:35:42	いうところを中心に、その話をしていくっていうことでいいです。
2:35:48	はい。三品浅井設計基準をやらしていただくチーム
2:35:53	がぐるみだと思いますがそこでやらしていただくこうと思ってましたんで、昨日もちょっとお話をさせていただいた報告額の設定とか一斉の中で、火災の中でも、
2:36:05	何とかっていう話をするといったときには、今おっしゃっていただいております、当然物は許可の中でお互い明確になってると思ってますので、うちの中で、SAの配置とかも含めた上で、お話をさせていただこうかなと思ってました。以上です。はい。
2:36:24	はい。どうも。
2:36:26	前回、ヒアリングの中でも申しあげましたけど、SA入るとアクセスルートが入ったりというので、DBよりも少し検討範囲が広がったり、荷重としても、
2:36:39	2.2施設になったりということで、結構、
2:36:44	何ですかね、同じ内容でありつつも、

2:36:48	幅が広くなるというので面倒が増えるかとは思いますが、一体として、
2:36:56	柏主務兼理事。
2:36:58	名Dの関係で、S Aの関係の有田から
2:37:03	ここに強くお話をしていただければというふうに思いますすみませんちょっと脱線しましたが、以上です。
2:37:18	規制庁カミデです。他、規制庁がわからなければ、
2:37:25	すみません。
2:37:28	岸野です。ちょっと資料です。ちょっと1点教えて。
2:37:32	はい。
2:37:34	1の右側を見ますと、
2:37:38	資料40ところです。
2:37:43	親米計算書と瀬下の方。
2:37:51	ふうん。
2:37:52	評価結果
2:37:55	交通になってるんですけど、
2:38:01	んと、
2:38:07	基本方針を決める。
2:38:09	手話。
2:38:15	実際、
2:38:26	ただ、
2:38:27	自分は、
2:38:31	写真でしょう。
2:38:33	なるほど。
2:38:37	うーん。
2:38:39	本当に何か、
2:38:41	6ページに対して七、八ページではない。
2:38:44	違う。
2:38:45	うん。
2:38:48	教えていただいてですか。
2:38:52	はい。日本原燃のカシワムラです。
2:38:55	笠井の方では、どっかの年間において、防護対象設備等、どこも耐震すると。

2:39:02	いうことを約束してもいい。Sクラス。
2:39:05	防護対象物クラスであれば、須藤トガシ、
2:39:08	スター入り一世の方からの展開によって、あくまでも基準地震動S sによる耐震性を確認することとしており、
2:39:17	これは一斉の場合、直接に、もう一緒に評価の条件設定としての、どの基準にするか、確認を基準として設定。
2:39:29	基準市道伊勢。
2:39:32	を考えております。この辺、医師のヒアリングの中とかで詳細に説明させていただきたいと思っております。
2:39:42	本当。
2:39:49	すいません。
2:39:50	清長官です。今の説明はよくわかんないですね
2:39:55	基準地震動S sによる評価をしますと言っているものは、
2:40:01	水平2方向だとか、やんなくていいっていう。
2:40:07	ということのようですけど、別に許可でそこまで話をしたわけではないので、
2:40:15	改めて許可の読み方を、
2:40:17	お話をしないといけないのかなっていう感じがしました。その話はいつでもしてもいいですけど、耐震のところでもしっかりしてくださいっていう。
2:40:28	1バーン
2:40:29	何だろう。今の話で気になった一関が強いですね。あれ、基準地震動S sじゃないからやんなくていいんだっていうと非常に心外な思いですので、ちゃんと説明する、してください。
2:40:42	はい、了解いたしました。
2:40:48	細田です。上條伊奈だけなんですけれども、一応前から、もともと私その一関東の鉛直を影響評価としていること自体、指定してというか、納得していなくて、
2:41:04	S sの評価の中に入れるべきというふうな考えを、まだ、私としては思っています。
2:41:10	要はそのそれセットじゃないと評価として成り立たないと思ってまして。
2:41:15	んなんですけど、結果示されているのは、

2:41:20	リジェクトするわけにもいかないので、
2:41:24	見てましたけど、こういうことを言われるのであればというふうに改めて思ってしまうので、隣接だったり、浄化だったり水平2方向だったり、もうすべて同じだと思いますので、
2:41:36	やっぱり何か認識が違ってんだな、その日認識の違いの表現が皆さんは影響評価って言ってんだなということがよくわかりましたので
2:41:46	その扱いの検討次第ではありますけど、審査会合でも、
2:41:51	厳しく当たる必要があるのかなというふうに感じています。以上です。
2:42:00	はい、勝山です。
2:42:02	はい、その点も含めて回答させていただき、
2:42:11	規制庁上津ほか、規制庁側から何か言いますか。
2:42:22	はい。規制庁上津なければ、振り返りということですけど前半部分のお話を振り返るはずもないのかなと思います。
2:42:35	簡単でいいんですけど当面の進め方みたいところで、一応振り返って終わりにしたいと思いますんで、振り返り、お願いします。
2:42:48	日本原燃星野です。決算書の修正対応のところについてですが、
2:42:54	様々なご指摘をいただきましたけども、まず修正がつくような点、計算書自体の問題点ですね、目次とか斜線とか、
2:43:04	宇野四方さんですか、モデル図の記載内容、
2:43:08	そういったところをしっかり確認して、あるべき姿を検討させていただいて、決算書自体も消し方という形で、そういったものを資料にまとめて、
2:43:19	あとNRCについては地震002、代表を置くフロア、添付資料。
2:43:29	たいと思います。
2:43:31	10ところは、
2:43:36	はい、日本ヤギハシでございます。来週以降のスケジュールといたしまして建物構築関係の方、変更進めていくといったところでございますので基本的には共通の関係のところを来週の島津の方に提示させていただきまして、来週いただければ、
2:43:51	実施するといったところと合わせて、本日一番の節減処分を出しておりますので、来週の方からヒアリング候補者の方を進めさせていただきたいという

2:44:02	ふうにしてございます。いずれにしましても、構築関係としまして先行して進めていくといったところでございますので、改めてスケジュール関係の方を整理したものをですね、来週の早い段階のところでご提示させていただきまして共通認識を図っていきたいというふうにしてございます。以上です。
2:44:22	小阪です。今当間さん言われましたけど、説明の際はミヤモトさんとかもお話されたと思うんですね。で、関係性とカーが、
2:44:33	いまいはっきりしなくてというところだったので、それを整理したものが出されてということだと思いますけど。
2:44:41	それも含めて今言われたっていう理解でいいんです。
2:44:47	はい、ございます聞き出すスケジュールところにですね補足説明資料ですね、その対象者として誰がちゃんと見ているのかっていったところですね、明確に示させていただいて、誰がちゃんと明確に指導の責任者なのかといったところを後日、私の方で対応したいというふうにご考えてございます。
2:45:06	コサクですすいません私は責任者が誰かを明確にというつもりで言ったのではなくて、ちゃんとその自分の書証以外のところも含めて関係性を整理して、
2:45:16	連携をとって進めるように、進めていきますということもちゃんと言われたんですねっていうことだけなんですけど。
2:45:24	日本インター鷺尾さんから申し上げます。そちらの方は本日の関係者集まってその部分での連携といったところをちゃんとやっっていこうといったところで、午前中にもお話してございますのでよろしく。はい。
2:45:38	それで私のところで最後、私直してしっかり対応していきたいというふうにしてございます。以上です。
2:45:44	はい。コサクです午前中も話されたのであれば、先ほどのやりとりは何だったんだっていう気がしますので、ちょっとやっぱりニーズ気がまだ甘いんだろうなと思いますから、しっかりと連携とってください。
2:45:56	そうしないとですねヒアリングで、昨日のヒアリングも全然めちゃくちゃでしたし、
2:46:02	今日もういまいちだったんで、
2:46:04	第2回%乾。

2:46:08	以上かかるだろうなあというふうに感じてしま言います。よろしくお願 いします。
2:46:17	それと、星野さんの方の、
2:46:21	禁煙の方ですけど、
2:46:25	建物の方で 00 でヒアリングを進めるということでは、五つ、先ほどの 作成方針内容整理をしてというところも結構
2:46:36	まず 0 点で、ちゃんと問題点を企画し、その対策を検討してっていうの に時間がかかるとは思いつつ、それをもってしても、その後、ヒアリン グも多分っていうのは、
2:46:51	ということだと思しますので、思いますっていうか、想像してますので、 その進め方というのもよく考えて
2:47:02	対応いただくといかなというふうに思います。よろしくお願いま す。
2:47:09	日本原燃保証ですが、先ほどスケジュールの話をしてしまいましたけど も、今コサクさんからおっしゃっていただいたように、今日の
2:47:18	ところを踏まえてスケジュールをどう立てていくかも含めて、検討して 参りたいと思います。以上です。
2:47:31	はい、規制庁カミデサトウ、コアパートを話をしましたけど、関係条文 の整理なんかは、一緒のヒアリングっていうことで、
2:47:42	話ができるってことでいいんですよ。
2:47:44	はい。新美石田でございます。これは先ほどお約束をした通りです。は い。来週させていただけるように準備して提出させていただきます。以 上です。
2:47:57	はい、院長深見ですよろしくお願います。他全体として規制庁が事業 者側から何かありますか。
2:48:05	長田です。ちなみに言っても最後にあった影響評価の話のところ、ど んな感じで進むんですかね。
2:48:14	野村さん、どうぞ。
2:48:33	風車ですなんか我々の認識が間違ってるところはちゃんとしなといけ ないんでそこをちゃんとやった上で、どういった評価が必要なのか、な ぜそれが必要なのかも含めて今日の委員会も、
2:48:47	整理が必要だと思しますので、そういったことをまず我々の中でやらせ ていただくと、D一層の説明をさせていただくときには、どうあるべき

	だと思っているかということが説明できるように、かつ、いろんなパーツが足りなければ、こういうスケジュール感でこういうものを出していきますと、
2:49:03	いう説明を、下水の何か額を全部出るとは思いますけどそういう中で説明をさせていただけるように、準備していきたいとします。以上です。
2:49:15	はい。
2:49:17	基本ヒアリングでも、ここら辺は一体
2:49:23	同様のことがあるのでという話だったと思いますんで、そのヒアリングスケジュールを示していただいてその中で、今の営業評価の扱いというところ、どのタイミングでどうやるかと。
2:49:37	いうことを明確に示していただければと思います。よろしくお願ひします。
2:49:47	はい。規制庁、丹治です。他よろしいですかね。
2:49:55	はい。特になさそうであれば、これで本日のヒアリングは終了します。お疲れ様でした。
2:50:05	録音停止をお願いします。
2:50:09	しました。
2:50:12	はい。院長、お疲れ様でした。お疲れ様でした。ありがとうございます。ありがとうございました。